

歩又ハ速歩ヲ用フヘキモノトス假令迅速ニ敵ニ接近セントスルトキニ於テモ狀況ノ許ス限リ速歩ヲ用フヘシ(操第一部第百八十三項)然レトモ狀況ニヨリテハ駈歩ヲ取ルノ已ムヲ得サルコトアリ即チ最モ迅速ナル接近ヲ要シ又ハ敵火ヲ避ケントスルトキノ如キ是ナリ

接近行進ヲ始ムルニ至レハ前衛ノ如キ警戒部隊ハ漸次其用ヲ失ヒ斥候(戰開斥候又ハ其他)又ハ敵ノ斥候ヲ驅逐スル爲出セル小部隊ノ警戒ヲ以テ充分トスルニ至ル蓋シ全隊既ニ展開準備ヲ整ヘテ行進スルヲ以テナリ然レトモ狀況ニ依リ我企圖ヲ秘匿センカ爲特ニ是カ存置ヲ必要トシ又先制ノ利ヲ得ンカ爲之ヲシテ先ツ敵ヲ攻撃セシムルヲ要スルコトアリ又各部隊ハ要スレハ地形搜兵ヲ派遣ス

分離セル縦隊ヲ以テ前進スルトキハ前進運動ノ統一ヲ保證スヘキ處置ト敵ト衝突スル前之ヲ集結(必ラスシモ一地點ニ)スヘキ處置トヲ竭スヲ要ス

敵情不明ナルトキ更ニ前進スルニハ往地區毎ニ躍進ヲ行ヒ尙ホ必要ノ場合ニハ陣地ヲ占領シタル砲兵ノ掩護下ニ於テ之ヲ行フコトアリ

一部隊ノ接近行進ハ其展開ニ依リテ終リヲ告ケ爾後攻撃前進即チ襲撃實施ノ動

開進地ニ
要件ヘキ

作ニ入ルモノトス故ニ此時機ハ全隊ト各部隊トニ於テ差異アリ獨立的ニ動作スル中隊ノ接近行進ハ襲撃ノ爲横隊ヲ作ル時迄持續スルモノトス蓋シ中隊ノ展開ハ即チ横隊ノ編成ナレハナリ

接近行進間騎兵指揮官ハ其指揮ヲ害セサル限リ成ルヘク隊ノ前方ニ在リテ親ラ一般ノ狀況ヲ視察シ以テ展開ノ好機ヲ發見シ且攻撃部署ヲ適切ナラシムヘキモノトス(操第一部第百三十五項)直屬部隊長中必要ナル者ハ其傍ラニ在ルヘシ

(2) 開進

騎兵ニ對スル戰鬪ニ於テハ開進ヲ行フコトナク行進中漸次横廣ノ隊形ニ排開スルヲ通常トス(操第二部第百三十三項)蓋シ騎兵ニ對スル乘馬戰ハ多クハ遭遇戰ノ性質ヲ有スレハナリ(操第二部第七十七項)然レトモ地形又ハ敵情ニ依リ先頭ヲ止メサレハ集合隊形ニ移リ能ハサルトキ或ハ止マリテ敵ノ來ルヲ待タントスルトキノ如キハ開進ノ必要ヲ生スヘシ而シテ此必要ハ部隊ノ大ナルニ從テ益增加スルモノトス

- 一 開進地ノ位置ハ全般ノ目的ニ適合セサルヘカラス(操第三部第百三十三項)

- 二 開進地ノ廣サハ開進セシメントスル軍隊ノ大サニ適スルコト
- 三 行進路ヨリノ進入容易ナルコト
- 四 爾後ノ進出ニ便ナルコト
- 五 敵眼敵火ニ暴露セサルコト

開進地ハ全隊ノ爲一個處ナルコトアリ或ハ數個處ナルコトアリ大部隊ニシテ數縱隊トナリテ前進スルモノニ在リテハ勢ヒ數地ニ選定セラルヘク假令一縱隊トナリテ前進スルモノニ在リテモ一地ニ於ケル開進困難ナルカ爲又ハ將來ニ於ケル兵力ノ使用ヲ顧慮シ之ヲ數地ニ分テ開進セシムルヲ適當トスルコトアリ

開進ニ於ケル隊形

開進ニ於ケル隊形ハ集合隊形ノ中ヨリ地形ニ適應セル者ヲ撰フヘシ但シ騎砲兵隊ハ爾後ノ使用ヲ顧慮シ行軍縱隊ノ儘路上ニ置クヲ適當トスルコト多シ(操、第二項第三)軍隊ノ開進中騎兵指揮官ハ通常前方ニ出テテ敵情地形ヲ視察スルモノトス故ニ開進ノ事ニ任シタル將校ハ獨斷ヲ以テ進出路ノ偵察要スレハ其修築開進地ノ警戒及掩蔽近隣部隊トノ連絡等ノ處置ヲ爲ササルヘカラス

(3) 攻撃部署

嘗テ記載セルカ如ク奇襲ハ乘馬戰ニ於ケル最モ有利ノ條件ニシテ此目的ヲ達スルトキハ形式的部署ノ如キハ殆ント其必要ヲ見スト雖奇襲ノ行ハルルコトハ稀ナルヲ以テ配備ノ完全モ重要ナル條件ナリトス
乘馬戰ニ於ケル部署ハ巧妙ト複雑トヲ避ケ實行ノ簡易ト確實トヲ主トスルコト特ニ必要ニシテ(操、第二項第八)是嘗テ三線戰術ノ生シタル所以ナリ然レトモ今ヤ指揮官ノ爲獨斷ノ餘地ヲ廣クシ一定ノ形式ヲ設ケテ之ヲ拘束セサルニ至レリ
乘馬戰ニ於テモ一般戰鬪ノ原則ニ同シク豫備隊ノ必要ナルコトハ先ニ乘馬戰一般ノ要領ヲ說述セル際少シク之ヲ述ヘタリ然レトモ騎兵ニ對スル戰鬪ニ於テハ若機關銃及騎砲兵ノ火力ヲ滅殺スルヲ得ハ敵ト衝突スル迄ニ受クル損害ハ僅少ナルヘキヲ以テ第一線ヲ補充スルノ要ナク寧ロ全力ヲ提ケ一舉ニ投スルヲ以テ有利トスルノ觀アリ仍テ今先ツ此戰鬪ニ於ケル豫備隊ノ必要程度如何ヲ窺ハントス

豫備隊ノ必要

抑、對騎兵戰ノ勝敗ハ短時間ニ決スルモノニシテ殊ニ互ニ衝突セントスル一刹

那ニ於テ既ニ決スルコト在リト雖其忽チ全勝全敗ヲ別ツハ小部隊ニ止マリ大部隊ニ在リテハ多クノ場合一部ハ我戰況有利ナルモ他ノ一部ハ我戰況不利ニシテ又他ノ一部ハ尙ホ彼我接戰ヲ繼續セル現象ヲ呈シ即チ戰闘一勝一敗ノ間ニ浮沈スル一時機ヲ現出スルモノトス(但シ此時間ハ短少ナリ)此際何レニテモ新銳ノ兵ヲ投シタル者ハ遂ニ全般ノ勝ヲ制シ得ヘキハ明ナリ又今假リニ此ノ如キ戰闘浮沈ノ時機ヲ生セスシテ勝敗忽チ決シタリトセンニ勝者ハ直ニ猛烈ナル追撃ヲ行フナラン此際其士氣ハ甚タ熾ナリト雖其有形的威力ハ消耗シ秩序ハ紊亂シアルカ故ニ若シ敗者ノ側ニ新銳兵ノ存スルモノアリテ適時ニ逆襲シ來ルトキハ勝敗忽チ位置ヲ變フヘキコト殆ント疑ヲ容レサル所ナリ(千八百七十年八月十六日「マルスラツ」ノ戰闘)以上ノ如クナルヲ以テ騎兵ニ對スル戰闘ノ勝利ハ戰闘終局ノ時機ニ於テ豫備隊ヲ適當ニ使用スル者ニ歸スト云フモ敢テ過言ナラサルヲ知ルヘシフリードリッヒ大王曰ク騎兵ハ豫備隊ナクシテ敵ヲ襲フヘカラスト實ニ千八百九年五月二十一日「エスリング」ノ襲撃ニ於テ「エスパニー」ノ胸甲騎兵ハ一旦退却シ且敵火ノ爲重大ナル損害ヲ蒙リタルノミナラス其師團長サヘ失ヒタルモ「ラサール」ノ「シヤッ

スール」第十六聯隊ノ突進ニ戰勢ヲ挽回セラレ再ヒ襲撃ヲ行ヒタリ又千八百六十六年「ケーニヒツグレッツ」ノ戰闘後塙軍ノ退却ニ際シ普ノ龍騎兵第三聯隊ハ塙ノ胸甲騎兵聯隊ニ追及スルヤ塙軍騎兵ハ直ニ回轉逆襲シテ之ヲ擊退シ敵ヲ壓迫シツツ殆ント之ヲ斬殺セシモ新ニ現出セシ普ノ「ホーヘンロー」ヘ「槍騎兵第十一聯隊」ノ側方ヨリスル救援ノ爲再ヒ退却スルノ己ナキニ至レリ此ノ如ク豫備隊ハ騎兵戰ニ於ケル決勝ノ爲必要ナルノミナラス又襲撃中ニ生スル不慮ノ事變ニ備フル爲ニモ必要ナリ

斯ノ如クシテ騎兵ニ對スル戰闘ニ於テモ亦第一線ト豫備隊トノ部署アリ然レトモ既ニ述フルカ如ク白兵戰闘ハ兵力ヲ遂次戰線ニ參加セシムルノ必要ナク却テ其勝敗ノ單時間ニ決スルノ理ニ基キ決戰點ニ同時ニ成ルヘク大ナル兵力ヲ參與セシムルヲ要求スルカ故ニ第一着ニ敵ヲ攻撃スヘキ第一線ニハ確實ニ勝利ヲ得ル爲必要ナル兵力ヲ最初ヨリ用キ(操第十七部)豫備隊ハ之ヲ支援シ此勝利ノ結果ヲ充分利用スルノ主旨ニ基キ貯存セサルヘカラス此主旨ニ從フトキハ部隊小ナルニ從テ豫備隊ノ必要少ナキヲ見ルヘシ蓋シ小部隊ハ多クノ場合第一着ノ衝突ニ

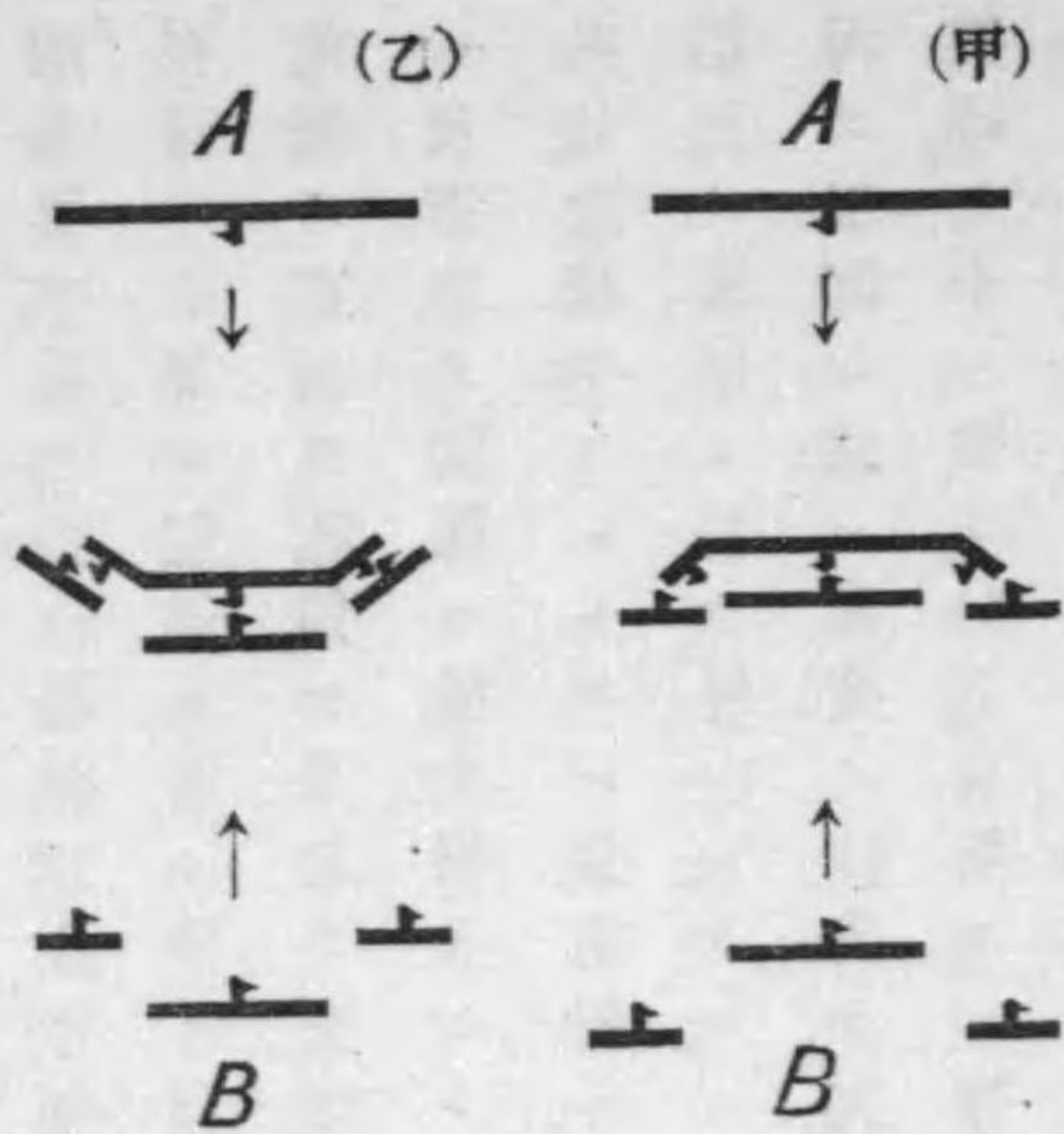
於テ直ニ且明瞭ニ勝敗ヲ決スレハナリ是聯隊以下ノ部隊ニハ豫備隊ヲ設ケサルヲ通則トスル所以ナリ又兵力ノ剩餘アリテ初テ豫備隊ヲ設ケ得ヘキコトヲ覺ルヘシ但シ大部隊ニ在リテハ地形其他ノ狀況ニ依リ若干部隊ノ優勢必ラスシモ勝利ノ因ヲ爲ササルカ故ニ彼我兵數ノ差直ニ兵力ノ剩餘ヲ表ハササルコトニ注意スヘシ是大部隊ニ在リテハ常ニ豫備隊ヲ設クル所以ナリ

第一線ノ兵力ハ右述フル所ニ基キ全隊ノ四分ノ三ヲ下ラサルヲ通常トス

第一線(豫備隊ナキモノハ全隊ヲ)ノ各部隊ハ齊頭面又ハ梯次ニ併立シテ配置セラレ而シテ部隊大ナルニ從テ各自益、獨立的ニ戰闘スル如ク部署セラルヘキモノトス(操第一、第二、第三、第四、第五)此ノ如ク併立シテ配置スルハ團結ノ混淆ヲ避ケ各部隊ノ動作ヲ自由ニシ地形ニ適合セシメ且騎兵指揮官ヲシテ其指揮ヲ容易ナラシメンカ爲ナリ而シテ各部隊ヲ齊頭面ニ配置スルトキハ同時ニ敵ニ衝突スルノ利アリ

第一線部隊ヲ梯次ニ配置スルハ左ノ原理ニ基クモノナリ

同兵力ニシテ一線ニ併立セルAト一部ヲ翼前又ハ翼後ニ梯次シテ併立セルB



トガ互ニ衝突スルトキハ上圖ノ如クBハAヲ包圍スル形トナリ且側面ノ掩護確實ナリ又主力(若ハ最)ハ梯次セル部隊ニヨリテ其側面及背後ヲ確實ニ掩護セラレアルコトヲ自信シ一意敵中ニ突進シ得ルノ利ヲ有ス其他BハAニ比シ行動ノ自由ヲ保持ス

右ノ理ニ依ルトキハ常ニ梯次ニ配置スルヲ以テ有利ト爲スカ如キモ實際ニ於テハ必ラスシモ然ラス蓋シBハ個々使用ノ弊ニ陥リ易ク甲ノ場合ニ於テハ其主力タル最前線ヲ乙ノ場合ニ於テハ其一部タル梯次部隊ヲ先ツ撃破セラルルニ至ルカ如キコトナキヲ保セサレハナリ故ニ敵情明カニシテ其兵力我ト同等ナレハ寧ロ同時ニ衝突スル如ク部署スルヲ以テ優レリトス

以上ノ如クナルヲ以テ第一線部隊ヲ梯次ニ配置スルハ聯隊以上ノ兵力ニシテ敵情未タ明カナラサルトキ(操第一、第二、第三)又ハ特ニ側面掩護ノ必要アルト

キ(操第十九部)及過剩ノ兵力ヲ有スルトキトス蓋シ敵情不明ノ時機ハ危險ニ備フルト共ニ尙ホ機動ノ自由ヲ保持スルヲ要シ又側面ノ掩護ヲ必要トスルモ未タ一部ヲ分遣スルノ時機ニ達セサルトキハ唯之ヲ準備スルヲ以テ足レリトシ又過剩ノ兵力ハ之ヲシテ徒ラニ空撃セシムルヨリモ敵ノ包圍及我側面ノ掩護ニ使用スルヲ以テ優レリトシ而シテ此ノ如キ顧慮ハ既ニ稍運動ノ輕捷ヲ缺キ且種々ノ戰術的部署ヲ爲シ得ル聯隊以上ノ部隊ニ於テ初テ緊要トスレハナリ即チ梯次部隊ノ任務ハ敵翼ヲ包圍シ若ハ敵ノ側面攻撃ニ備フルニ在リ(操第一部第二百二)此他最前線ノ正面ヲ延伸シ又之ヲ突破スル敵ニ當ルコトモ其兼任スル所ナリ故ニ第一及第二ノ關係ニ於テ梯次シタルモノナルトキハ側面ノ危險ナキニ至ルカ又ハ其危險減少スルトキハ最前線ニ合シ其正面ヲ延長スルコトヲ得ルモ(操第二部二十三)若第三ノ關係ニ於テ梯次シタルモノナルトキハ衝突迄之ヲ保持シ衝突ノ際敵ノ側面ヲ包圍シ或ハ衝突ノ後我カ突破セル敵ノ一部ニ向ヒテ投入シ或ハ我最前線ヲ突破シ來ル敵ニ向テ襲撃スル等ノ動作ニ出テシムルヲ可トス而シテ何レノ場合ニ拘ラス直ニ梯次部隊全部ノ使用ヲ必要トセサルコトアリ例ヘハ衝突ノ際敵ハ

梯次部隊

既ニ後方部隊ヲ有セス我ハ梯次部隊ノ一部ヲ使用スルモ能ク敵線ノ側面ヲ攻撃シ得ルトキノ如キ是ナリ蓋シ此ノ如ク一線ノ橫隊ヲ爲セル敵ノ側面又攻撃スルニハ一二中隊ヲ充ツレハ充分ニシテ是以上ノ部隊ヲ以テスルモ大ナル利益ヲ收ムルコト能ハス實ニ側面攻撃ノ利ハ後方部隊ヲ有スル敵ノ縱深全部ニ對スルトキ著大ニ現ハルルモノナルカ故ニ殘餘ノ部隊ハ之ヲ貯存シ不慮ノ變ニ備ヘ或ハ勝利ヲ確實ニスル爲使用スルヲ以テ優レリトスレハナリ
 全隊ヲ幾梯次ニ分チ各梯次部隊ノ兵力ヲ如何ニ定ムヘキカハ即チ危險ノ大小及既知又ハ豫想スル敵ノ兵力ト我兵力トノ比較ニ基クモノトス小部隊ニ於テハ元來其動作自由ナルト四圍ノ狀況概不明瞭ナルトニヨリ一部ヲ梯次セシムルヲ以テ足レリトスル場合多キモ部隊大ナルニ從テ狀況益明瞭ヲ缺キ動作益緩慢トナルヲ以テ數個ノ梯次部隊ヲ設ケ各梯次部隊ノ兵力ヲ大ナラシムルノ必要ヲ生スルモノトス是聯隊ニ於テハ多クハ一部ヲ梯次セシムルモ集團ニ於テハ屢各旅團ヲ梯次セシムル所以ナリ
 梯次部隊ハ其目的ヲ達成スルニ必要ナル方面ニ位置セシムヘキモノトス即チ既

知ノ數ニ對シ側面ヲ掩護セシメンニハ該側方ニ置クヘク敵情不明ノ爲梯次スルモノニ在リテハ地形其他ノ關係上危險多キ翼ニ之ヲ置キ(撰第十九部)地形又ハ我火力等ニ依リテ掩護セラレタル翼(撰第二部)ニハ之ヲ置クヲ要セス若兩側ノ危險同一ナレハ兩翼ニ置カサルヘカラス又兵力過剩ノ故ヲ以テ梯次スルモノニ在リテハ敵ノ配備及地形ニ基キ敵ヲ包圍シ或ハ我側面ヲ掩護スルニ便ナル方側ニ置ク是カ爲又兩翼ニ分置セラルルコトアリ其他必要ニ應シ迅速ニ方向ヲ變換スル爲該方向ニ梯次ノ區分ヲナスヲ要スルコトアリ而シテ以上述フル所ノ何レノ場合ニ拘ラス或ハ翼前トシ或ハ翼後トス其翼前トスルハ外線配備ニ依リ敵ヲ包圍的ニ攻撃スルニ適シ敵眼ニ遮蔽シテ行動シ得ル地形ニ於テ殊ニ有利ニ使用セラル而シテ此關係ハ從來ノ前衛ヲ梯次部隊トスルニ依リテ起ルコト多シ其翼後トスルハ敵狀不明ナルトキ及不慮ノ變ニ備フル爲等ニ適スルモノトス

第一線ノ主力(若ハ最前線)ト梯次部隊トノ距離及間隔ハ部隊ノ大小及我目的並狀況ニ依リ異ナルモノニシテ同時且連繫シテ動作シ得ンカ爲長キニ失スヘカラス然レトモ亦其意志ニ反シテ動作スルノ己ムヲ得サルカ如ク過近ナルヘカラス其他梯

次部隊ハ故障ナク正面變換ヲ爲シ得ヘキコト又主力(若ハ最前線)或ハ梯次部隊ノ敗北シタルトキ互ニ其影響ヲ及ホササルコト及一方ニ受クル敵火ノ餘勢他方ニ及ハサルコト並橫隊ヘノ排開間隔ヲ存スルコト必要ナリ

第一線ノ各部隊内ニ於ケル梯次部署ハ原則トシテ該部隊長之ヲ爲スモノナリ(撰第一部)

十一部第二項ト雖亦騎兵指揮官之ヲ命スルヲ要スルコトアリ(撰第一部)

第一線ノ配備中尙ホ研究スヘキハ從來採用セラレタル支援隊トス抑支援隊ナル者ハ第一線ヲ突破スル敵ノ部隊ニ備ヘ接戰ノ奏効ヲ確實ナラシムルコトニ任スルト共ニ第一線ノ間隙ヲ補填シ一定ノ場所ノ衝突力ヲ強ムルコトモ亦其利トセシ所ニシテ通常一旅團ニ一二中隊ヲ附スルノ例ナリキ然ルニ斯ノ如キ部隊ハ若第一線ニシテ突然退却スルトキハ之ニ纏絡セラレテ走ルニ至ルヘク又自然衝突前ニ使用セラレ接戰ニ當リテハ最早之ヲ有セサルニ至ルノ弊ニ陥リ易クシテ其任務ヲ盡サシムルコト難ク而シテ聯隊内ノ梯次部隊却テ能ク該任務ヲ達成シ得ルコトアルヲ以テ新操典ニ於テハ原則トシテ之ヲ廢セリ然レトモ地形小障礙物多クシテ列中間隙ヲ生シ易キ等例外ノ場合ニ於テハ臨時之ヲ設クルヲ利トスル

支援隊

豫備隊

コトアラシク然ルトキハ聯隊長自ラ之ヲ設ケ或ハ旅團長之ヲ部署スヘキモノトス
 其第一線ニ續行スヘキ距離ハ通常二百乃至三百米ナルヘシ「ベルンハルヂ」ノ如キ
 ハ獨國操典ノ聯隊ニ在リテハ例外ノ場合ニ於テノミ之ヲ設ケヘシト規定セルニ
 反對シ如何ナル場合ニ於テモ缺クヘカラサルモノナリト唱導セリ
 先ニ述フル所ニ依リ豫備隊ノ必要ヲ見タリ而シテ自然其任務ヲ了解シタルナラ
 ン即チ豫備隊ノ任務ハ不慮ノ事變ニ備ヘ且決勝點上ニ新銳ノ兵力ヲ使用シテ勝
 利ヲ確實ナラシムルニ在リ(操第一部第三十二)
 豫備隊ノ兵力ハ嘗テ述ヘタル理由ニ基キ通常全隊ノ四分ノ一以下トス
 豫備隊ノ位置ハ其任務ヲ達成スルニ便ナルカ如ク選定スヘキモノニシテ(操第二
 百三十一)一般ニ第一線ノ翼後ハ此趣旨ニ合スルモノトス蓋シ不慮ノ事變ニ應ス
 ルコト迅速ニシテ又前線ニ使用スルニ便ナレハナリ之ニ反シ中央後ニ在ルトキ
 ハ第一線敗ルトキ之ニ纏絡セラルルコトアルヘク然ラサルモ敗兵ヲ正面ニ被
 リテ士氣ヲ沮喪シ且追撃シ來ル敵ヲ反撃スルコト困難ナルヘシ然レトモ敵情ノ
 不明其他ノ原因ニ依リ直ニ何レノ翼ニ置クヘキヤヲ決定シ難キトキハ先ツ中央

縱長殊
梯次配備
ノ利

後ニ置クノ已ムヲ得サルコトアリ然ルトキハ以上ノ害ヲ避クル爲稍遠ク離隔セ
 サルヘカラス豫備隊ノ位置スヘキ翼ハ諸種ノ狀況ニ依リテ定マルモ多クハ決戦
 ヲ豫期スル方側ナリトス然レトモ危險ヲ顧慮シテ危險翼ニ置クヲ至當トスルコ
 トアリ從テ此場合ニ於テハ時トシテ兩翼ニ分置セラルルコトアリ又時トシテハ
 單ニ塵埃ヲ蒙ムラサルノ理由ニ因リ某翼ニ置クコトアリ
 豫備隊ト第一線トノ距離ハ意志ニ反スル使用ニ陥ラサルコトト適時ノ使用トノ
 兩顧慮ニ基キ部隊ノ大小、敵情、地形、天候ニ依リテ定マルモノトス
 豫備隊ハ嘗テ述ヘタルカ如ク最後迄貯存スヘクシテ決シテ成效ヲ期スヘキ戦闘
 ノ渦中ニ投入スヘキモノニアラス故ニ先ツ其一部或ハ大部ヲ使用シ他ハ尙ホ之
 ヲ貯存スヘキ場合屢アルモノトス
 以上第一線及豫備隊ノ配備ヲ通覽スレハ騎兵ニ對スル乘馬戰モ亦一般戰術ノ原
 則ト同シク縱長區分ヲ爲シテ戦闘スヘキモノニシテ而シテ該縱長區分ハ梯次ノ
 配備ニ依リテ生スルモノナルコトヲ知ルヘシ今更ニ此梯次配備ノ利ヲ綜合シテ
 述フレハ此配備ハ最前線ニハ直接戦闘部隊ノミヲ配置シ其他ハ一部前方多クハ

後方ニ梯次セシメアルヲ以テ一時又ハ梯次ニ之ヲ使用シテ攻撃ヲ實施シ或ハ敵ノ後方部隊ヲ襲撃シ或ハ敵ノ正面ヨリ溢出シテ之ヲ包圍スルニ便ナルノ利アリ又此配備ハ脅威掩護ノ主旨ニ適シ(超溢翼ヲ進出セシメ)而シテ後方部隊ハ前方部隊ヲ掩護スルコト自由ナルノミナラス各部隊ハ互ニ獨立動作スヘキ餘地ヲ有スルカ故ニ前後部隊互ニ不利ノ影響ヲ蒙ムラサルノ利アリ又此配備ハ退却ニ際シテモ敵ヲ逆襲シ急追ヲ免ルルニ適スルモノトス

對騎乘馬戰ニ於ケル部署法ノ通則以上ノ如シト雖敵情又ハ地形ニ依リ急ニ戰鬪ヲ開カントスルトキハ此ノ如キ配備ヲ取ルコト能ハス各部隊ヲ重疊シテ使用スルノ已ヲ得サルコトアリ(操第二十四部)例ヘハ地形狭少ニシテ部隊ヲ併列シ能ハサルトキ又ハ迅速ニ前方部隊ヲ敵ニ投入スルヲ要シ而カモ後方部隊ヲ側方ニ進出セシメ能ハサルトキノ如シ此場合ニ於テ重疊スル各部隊殊ニ主力部隊ハ成シ得ル限リ其兵力ヲ大ナラシメ而シテ各部隊間ノ距離ハ動作ノ自由ヲ失ハサル爲約二百五十米以上ナルヲ可トス然レトモ衝突ノ効力ヲ相續キテ收ムルコト能ハサルニ至ル迄過大ナラシムヘカラス而シテ此距離ハ前方部隊ノ運動ニ依リテ取ルヲ

重疊的部署

原則トス時トシテハ敵ノ一點ヲ突破セントスル目的ヲ以テ特ニ重疊的部署ヲ取ルコトアリ

攻撃力ト爲
トノ區
分

主力ヲ以テ敵ノ側面若ハ背面ニ向フトキハ多クノ場合一部ヲシテ正面ヨリ敵ヲ牽制セシムルヲ要シ又敵ノ正面ヲ攻撃スルノ已ムヲ得サル場合ニ於テモ同時ニ側面若ハ背面ヲ攻撃スルコト必要ナルカ故ニ既ニ諸種ノ戰術的部署ヲ爲スニ足ルヘキ聯隊以上ノ部隊ハ攻撃ノ爲通常少ナクモ二部ニ區分セラレヘキモノトス即チ側面又ハ背面已ムヲ得サレハ正面ヲ攻撃スヘキ主力部隊及是ト同時ニ正面若ハ側背ヲ攻撃スヘキ一部隊是ナリ(操第二部項)而シテ攻撃ハ敵ノ不意ニ出ツルヲ以テ最モ肝要トスルカ故ニ主力及一部ハ過早ニ分離スルコトナク成シ得ル限リ一團トナリテ一方向ヲ充分敵ニ近接シ然ル後俄然分離シテ他ノ方向ヲ同時ニ攻撃スルヲ可トス然レトモ部隊大ナルニ從テ一地ニ集合シテ統一的戰鬪ヲ行フコト益困難ナルト敵ニ近接シタル後分離スルコトハ其移動スヘキ距離ノ大ナルカ爲益難キヲ加フルトニ因リ終ニ此ノ如キ動作ヲ行ヒ能ハサルニ至リ從テ早クヨリ分進スルノ必要ヲ生スルモノトス即チ分進合撃ノ原則ハ騎兵ニ對スル乘馬

戰ニ於テモ亦適用ヲ見ルモノニシテ而カモ往時ニ比シ現時土地ノ開拓セラレタルニ因リ益々必要トナレリ而シテ此分進ハ行軍途中ヨリ或ハ既ニ此日ノ行軍ノ當初ヨリ行ハルルモノナリ

決戰點ニハ成ルヘク多クノ兵力ヲ集メサルヘカラス故ニ之ニ向フ主力ハ成シ得ル限リ其兵力ヲ大ナラシメ之ニ反シ他ニ向フ一部ハ成ルヘク其兵力ヲ制限スヘキモノトス而シテ主力ト一部トハ互ニ其連絡ヲ確實ニシ各個ニ擊破セララルノ危険ニ陷ルコトナク一部ノ動作ハ有効ニ主力ノ動作ヲ援助スルカ如クナラサルヘカラス

一部ハ以上ノ如ク主力ト相待テ集中攻撃ヲ行フノ外陽攻ヲ以テ主力ノ攻撃ヲ援助スルコトアリ此事ニ關シテハ第三章第一節第一ニ於テ説述スヘシ

一部ハ主力ニ對シ獨立セシテ第一線ノ一部タルコト多シ(一團ヲナリテ敵ニ近テハ殊ニ然リ)然レトモ地形其他ノ狀況ニ依リテハ全ク獨立セシムルコトアリ前ノ場合ニ在リテハ該一部及主力ヲ合セル全體ノ爲一ノ豫備隊ヲ有ス故ニ主力タル第一線及一部タル第一線ハ共ニ單ニ梯次部隊ヲ以テ所要ノ縱長區分ヲ爲ス

敵ヲ側面ニ置キテ運動スル法

ヘキモノトス然レトモ後ノ場合ニ在リテハ一部及主力ハ所要ニ從ヒ各自ニ豫備隊ヲ設ケサルヘカラス

以上述フル所ノ部署ノ外一部ヲ以テ敵ノ騎砲兵、機關銃又ハ徒步部隊ヲ襲撃セシメ其火力ヲ我主力ヨリ分離セシムルヲ要スルコトアリ(操第三十一部)其用フヘキ兵力ニ關シテハ歩砲兵ニ對スル戰鬪ノ部ヲ參照スヘシ此部隊ニ對シテハ主力ノ攻撃ヲ掩フ如ク其出發時機及行進方向ヲ規定スヘキモノトス

時トシテハ各部隊ヲ各個ニ使用スルノ已ヲ得サルコトアリ例ハ襲撃地ノ所々ニ散在セルトキノ如キ是ナリ(操第三十一部)

以上ハ主トシテ攻撃配備一般ノ形狀ニ關スル説述ナリ以下配備ノ適用ヲ知ラシメンカ爲其緊要ナル二三ノ事項ニ就テ説明セントス

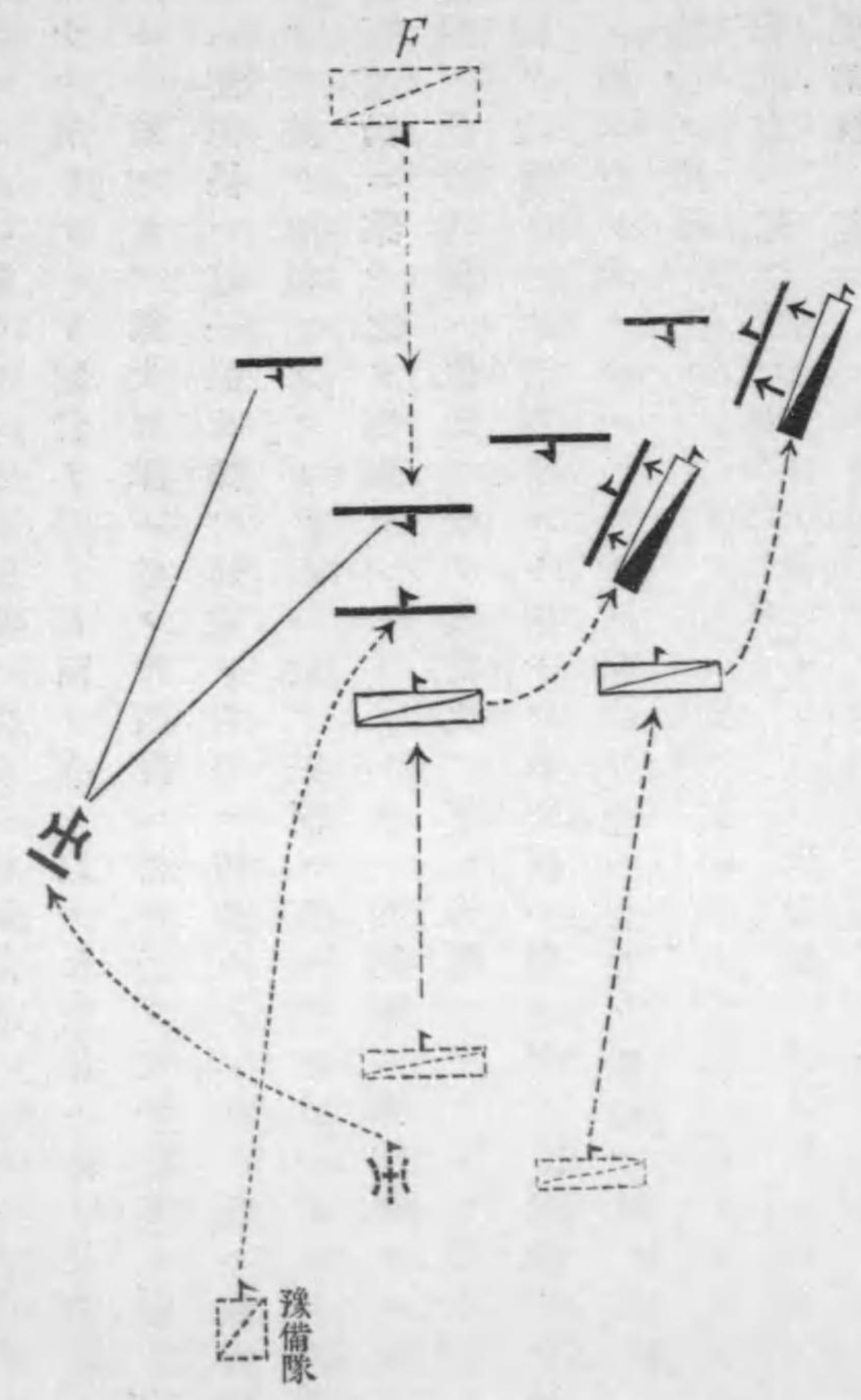
攻撃方向及攻撃點ニ依リテハ敵ヲ側面ニ置キテ前進スルヲ要スルコトアリ然ルトキハ一般ノ配備ハ敵方ニ對シテ編成セラレ之ヲ側面ニ向ケテ前進シ而シテ其先頭及後尾ノ掩護ヲ顧慮スヘシ又敵トノ顧慮ニ應シ側面運動ノ大小及各部隊ノ隊形ヲ規定セサルヘカラス例ハ我ニ向ヒ前進スル敵ヲ距ルコト八百米ナルト

キハ小隊面ノ縦隊ヲ以テ尙ホ能ク側面ノ大運動ヲ實施シ得ルモ(縦隊ハ小距離ナ)既ニ五百米ニ近ツク時ハ爾後唯小距離ノ側面運動ヲ爲シ得ルニ過キス若長ク此運動ヲ持續スルトキハ敵ノ爲側面ヲ衝カルルカ然ラサルモ最大ノ衝突力ヲ出スコト能ハサルニ至ラン是操典ニ大ナル側面運動ノ實施ヲ戒メタル所以ナリ(操第一二部一十)

敵ノ側面ヲ攻撃スルノ利益ハ攻撃點ノ撰定ニ關シテ述ヘタル所ナリ而シテ是カ爲左ノ數法アリ

- 一 地形ノ利ニ依リ敵ノ側面ヲ奇襲ス
 - 二 一部ノ運動ヲ以テ敵ヲ牽制シ其側面ヲ我他ノ部分ニ暴露セシム
 - 三 梯次部隊ニ依リ又ハ一翼部隊ノ分割ニ依リ急ニ敵ノ側面ヲ攻撃ス
- 主力ヲ以テ敵ノ側面ヲ攻撃センカ爲ニハ前ノ二法ヲ用フルヲ可トス然レトモ我企圖ヲ敵ニ秘匿スルニハ第三法ヲ可トシ而シテ此方法ニ依ルモ其實施巧妙ナルトキハ主力ヲ以テ敵ノ側面ヲ攻撃スルコトヲ得ヘシ其一例ヲ舉クレハ左ノ如シ
- 集團ハ先ツ旅團毎ノ梯次配備ヲ以テ敵ノ正面ニ對シテ前進ス次テ敵ノ左側ヲ

攻撃スルニ決スルヤ直ニ戰鬥部署ヲ爲シ先ツ梯隊ヲ將ニ包撃セントスル敵翼



ニ向ハシメ豫備隊ハ攻撃翼ノ反對側ニ於テ第一線ノ翼後ニ跟隨セシム斯クテ

側面掩護
ノ方法

敵ヲ距ル八百乃至千米ニ達スルヤ再ヒ部署ヲ爲シ縱隊横隊ニ在ル最前線及梯隊ニ命スルニ攻撃セントスル敵翼ノ方向ニ轉回急進スルコトヲ以テシテ其適當ナル所ニ至ルヤ號音ヲ以テ正面ヲ令シ以テ最前線ハ敵ノ最前線ト其梯次部隊トニ當ル如ク梯次部隊ハ敵ノ豫備隊ニ當ル如ク充分後方ニ向ヒ攻撃前進セシム集團長ハ第一線及梯次部隊ヲ右方ニ轉進セシメタル後ハ豫備隊ノ處ニ在リテ形勢ヲ觀望シ之ヲシテ或ハ敵ノ正面ニ對セシメ或ハ敵ニシテ我最前線ノ側面運動ニ乗シ之ヲ側擊セントスルトキハ其側面ニ動作セシムルモノトス騎砲兵ハ此際内側ニ位置シ敵ヲ其砲火ノ下ニ抑制スルコトヲ努メシム敵ノ側面ヲ攻撃スルノ有利ナルト同シク我側面ハ敵ニ對シテ危險ナリ故ニ是カ掩護ニハ特ニ意ヲ用ヒサルヘカラス而シテ之カ爲左ノ數法アリ

- 一 地形ノ掩護ニ托ス
- 二 我火力ニ托ス(以上操第二部第
二十五項第一節)
- 三 他部隊ニ托ス
- 四 配備ニ依ル

攻撃部署ノ
指示

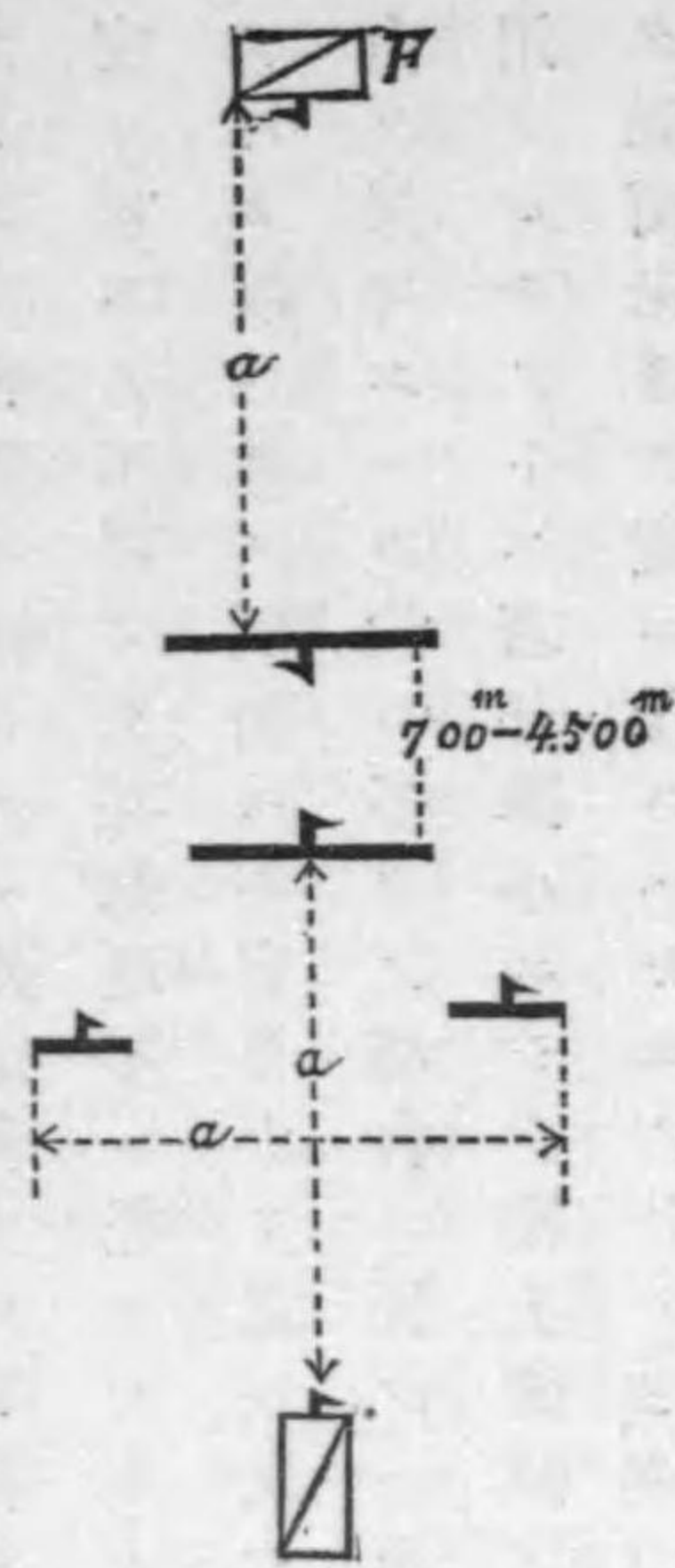
前三法ハ自己ノ兵力ヲ割カサル點ニ於テ有利ナリト雖此機會ヲ得サルコト少ナカラス又敵情ニ依リテハ此掩護ヨリ離隔スルノ已ムヲ得サルコトアリテ急ニ不安ヲ來スノ不利アリ其他地形ニ托スルモノハ此方面ニ向ヒテハ我モ亦運動シ得サルカ故ニ敵ノ側面モ亦安全ナリ之ニ反シ第四法ハ確實容易ニシテ且動作ノ自由ヲ保持スルカ故ニ多クノ場合ニ於テハ此方法ヲ採用シ而テ是カ爲梯次部隊ヲ用フルモノトス若部隊小ニシテ梯次部隊ヲ設ケサルトキハ翼端ノ部隊ハ別命ナク側面掩護ノ責ニ任スヘキモノナリ(操第二部第
十九項初文)

第一線ノ各部隊ニハ各別ノ任務ヲ與フルカ又ハ基準タルヘキ部隊ニ攻撃目標攻撃方向(操第一部第
二百二十一項)要スレハ攻撃點ヲ指示シ他ノ部隊ヲシテ密ニ之ニ整頓又ハ連繫シテ前進セシム大部隊ニ在リテハ主トシテ前法ニ依リ敵情不明ナルトキ又ハ小部隊ニ在リテハ主トシテ後法ニ依リ部署スルモノトス豫備隊ニハ單ニ其位置ヲ示スヲ以テ足レリトス

攻撃部署ノ結了則チ展開開始ノ時機ハ嘗テ乘馬戰一般ノ要領ニ就キテ述ヘタルカ如ク早ニ過キテ機動ノ自由ヲ失フヘカラス故ニ展開又ハ各部隊ノ必要ナル排

展開開始
ノ時機

開ヲ終ラサル間既ニ敵ト衝突スルカ如キ害ニ陥ラサル限リ遅キヲ可トス敵前四五百米ニ達シタルトキ既ニ展開完結シ各部隊ハ各其占ムヘキ位置ニ在リ且最前線(第一主カ線)ハ横隊ヲ作り終ルカ如クナレハ敢テ遅シトナサス然レトモ狀況之ヲ許セハ敵前約七百米ニ於テ展開ヲ終リ最前線ノ隊形ハ縦隊横隊ナルヲ利トス蓋シ襲撃方向決定ノ時機ト展開ノ完結トヲ一致セシメ且横隊ノ排開ヲ圓滑ナラシムレハナリ而シテ展開ヲ整齊ナラシメンカ爲ニハ展開配置ノ正面幅ヲ基底トセル等邊三角形ノ頂點ヨリ展開ヲ始ムレハ充分ナルカ故ニ敵ニ正對セル場合ニ於ケ



ル展開開始ノ時期ノ標準ハ敵ヲ距ルコト展開配置ノ正面幅ノ二倍ニ七百乃至四五百米ヲ加ヘタル距離ト概算スルコトヲ得ヘシ此ノ如クスルトキハ圓滑ニ前進シツツ展開スルヲ得士氣ヲ旺盛ニシ且展開シツツ敵ニ近接スルノ利アリ然レトモ狀況ニ依リ時間ト勞力トヲ節約シ且前方ニ地域ヲ存セン

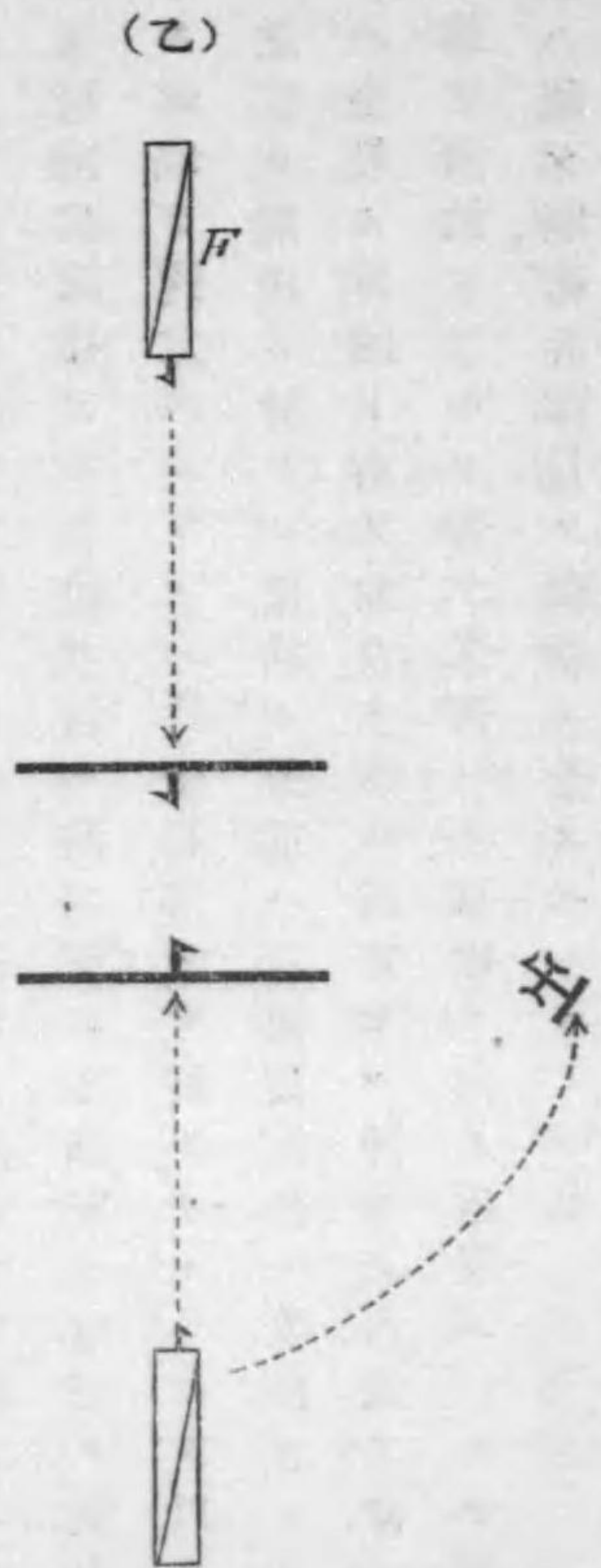
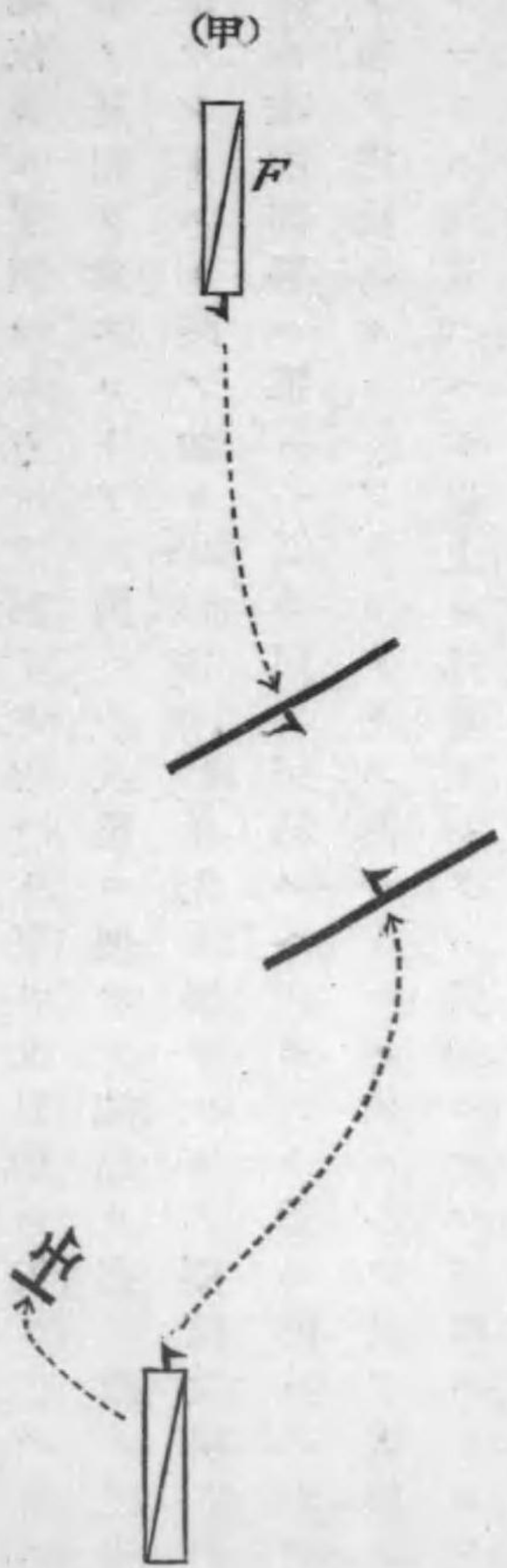
騎砲兵ノ用法

カ爲現位置ニ展開セシムルヲ利トスルコトアリ又目的ニ依リテハ時ニ早クヨリ第一着ノ展開ヲ爲スコトアリ例ヘハ攻撃ニ便ナル地點ヲ占メ敵ノ近接ヲ待テ之ヲ攻撃セントスル時ノ如キ(以上操第二十四部)及先ニ掲クル所ノ側面攻撃ノ例ノ如キ是ナリ故ニ攻撃部署ハ單ニ一回ヲ以テ完結スヘキモノト爲ス能ハスシテ往々數回ニ亘リテ初テ完結スルコトアルモノトス然ルトキハ成ルヘク長ク機動ノ自由ヲ保持スルコトニ注意スヘシ以上ノ外時トシテハ退却シツツ展開スルコトアリ以上述フル所ハ總テ騎兵隊ニ關スル部署ナリ以下騎砲兵隊及機關銃隊ニ關シテ説述セントス

騎砲兵ハ其射程長大ナルヲ以テ戰場決定セハ早クヨリ之ヲ部署シテ陣地ニ就カシムルヲ得又機ヲ失セス攻撃ヲ援助セシメンカ爲成ルヘク早クヨリ陣地ニ就カシメサルヘカラス然レトモ爾後實行スヘキ彼我ノ機動從テ豫想セル衝突點ノ多少ノ變化ニヨリテ直ニ陣地ノ變換ヲ爲ササルヲ得サルカ如ク過早ナルヘカラス而シテ其陣地ハ高地上等ヨリ我騎兵隊ヲ超越シテ衝突ノ時機ニ至ル迄有利ニ敵ヲ射撃シ得ルカ如キトキハ騎兵隊ノ後方又ハ側方何レニ在ルモ可ナリト雖若然

ラサルトキハ陣地大體ノ位置ハ騎兵隊ノ側方ニシテ且豫想スル衝突線上ニ近ク撰定スルヲ可トス蓋シ我騎兵ノ敵ト衝突スルニ至ルマテ射撃ヲ繼續スルコトヲ得且騎砲兵ノ在ル方側ニ於テ我騎兵ノ側面ヲ掩護シ得ルノ利アレハナリ(操部第二十三第一項第二)然レトモ機ヲ失セス攻撃ニ參與セシムルノ條件ハ此條件ヨリモ更ニ重要ナルコトヲ銘心セサルヘカラス

騎砲兵ヲシテ騎兵ノ側面ニ在ラシムルカ如クスルニ二法アリ一ハ騎砲兵隊ヲ軸トシ騎兵隊其側方ヨリ前進スルコト(圖甲)一ハ騎兵隊ヲ軸トシ騎砲兵隊ヲ側方ニ赴カシムルコト(圖乙)是ナリ



其何レノ方法ヲ採用スヘキヤハ地形上彼我騎兵ノ衝突ヲ求ムル點騎砲兵運動ノ難易騎砲兵射撃ノ關係敵情殊ニ之ヨリ生スル時機ノ緩急等ニ依リテ定マルモノトス

騎砲兵ノ陣地ハ又成ルヘク集團セサルヘカラス蓋シ騎兵ニ對スル戰闘ハ射撃時間短少ニシテ好機ニ乘シ迅速ニ火力ヲ集中セサルヘカラサルト若陣地分離スルトキハ我騎兵ニ依リ射撃ヲ妨ケラルルカ或ハ反對ニ射撃ニ依リ我騎兵ノ運動ヲ妨クルヲ以テナリ(操部第二十八第二項第二)

以上述フル所ノ大體ノ關係即チ陣地變換ヲ要セスシテ成ルヘク最後迄射撃ヲ繼續シ得ル範圍内ニ於テ騎砲兵陣地ハ一般砲兵陣地ニ顧慮スヘキ事項ノ外尙ホ左ノ條件ヲ顧慮シテ選定スルヲ要ス

- 一 騎兵隊ノ存在セサル陣地ノ一翼ハ成ルヘク天然ノ掩護物ニ托スルコト
 - 二 該陣地ヨリハ成ルヘク戰場全般ノ狀況ヲ視察シ得ルコト
 - 三 進入及前進退却迅速容易ナルコト
 - 四 敵砲兵ニ遮蔽シアルコト
 - 五 迅速ニ方向ヲ變換シ得ル爲梯次ニ陣地ヲ占ムルヲ利トスルコトアリ
- 然レトモ騎砲兵隊長ヲシテ此ノ如キ點ニ至ル迄綿密ニ地形ヲ偵察セシメタル後之ニ基キ陣地ヲ選定スルコトハ時機通常之ヲ許ササルヘキヲ以テ多クハ大體ノ陣地ヲ選定シ爾後ニ於ケル位置ノ選定ハ騎砲兵隊長ニ委任スルモノトス而シテ指揮官ハ全般ノ目的ト右ノ如ク大體ニ選定セル陣地ノ占領ヲ命シ及爲シ得レハ直ニ射撃ヲ開始スヘキヤ否ヤ又何レノ目標ニ向ヒ射撃スヘキヤ等ヲ指示ス其後ノ處理ハ總テ騎砲兵隊長ノ獨斷ニ委スヘキモノナリ

騎砲兵ノ射撃開始ノ時機ハ決シテ遲緩スヘカラス蓋シ騎兵戰ノ經過ハ迅速ナルカ故ニ彼我衝突前遂ニ一發ノ射撃ヲモ爲シ得サルコト屢アレハナリ然レトモ敵ノ騎兵其襲撃ヲ斷念シ他ノ方法ニ出ツルノ虞アルカ如ク過遠ノ地ヨリ射撃ヲ始シムルモ亦適當ナラス一時止マリテ敵ノ近接ヲ待タントスルトキノ如キ殊ニ然リトス

射撃開始ノ時期ニ於ケル騎砲兵ノ射撃目標ハ敵ノ軍隊中第一ニ戰鬪ノ勝敗ニ關係ヲ有スル者ニ選定スヘク又先ツ我騎兵ノ展開ヲ掩護セシムルノ主旨ニ從テ選ハサルヘカラス是カ爲敵砲兵ヲ制壓スルヲ必要且有利トスルコトアルモ若敵ノ騎兵既ニ我有効射撃界内ニ在ルトキハ通常萬事ヲ措テ該騎兵ヲ射撃スヘキモノトス(操第二部第二項第十八)

騎砲兵ハ地形又ハ配備ニヨリ能ク掩護セラレアルトキノ外特ニ掩護部隊ヲ附スヘキモノナリ蓋シ砲兵ハ不意ニ側背ニ現出スル敵ハ假令其斥候ト雖既ニ大ナル危險ト恐慌トヲ感スルモノナレハナリ是カ爲騎砲兵一中隊ニ少クモ騎兵一小隊ヲ附ス然レトモ騎砲兵隊ノ近傍ニ在ル諸隊ハ別命ナキモ之ヲ掩護スヘキ義務ヲ

有スルモノトス(操第一部第二項)
 機關銃ハ其射距離短少ナルヲ以テ騎砲兵ノ如ク敵ニ遠ク早クヨリ陣地ヲ占領セシメ得ルコト稀ナリ若過早ニ陣地ニ就カシムルトキハ爾後行フヘキ騎兵ノ機動ニ因リ敵ヲ射撃スルコト能ハサルニ至ルヘシ(操第二部第三項)故ニ機關銃隊ハ通常ノ場合騎砲兵隊ニ遅レテ部署セラルヘキモノトス然レトモ騎兵ノ展開ヲ終レル時機ニハ機關銃隊モ亦既ニ陣地ノ占領ヲ終ラサルヘカラス以上ノ如クナルヲ以テ機關銃隊ニ對シテハ部署ヲ命シタルトキヨリ陣地ニ就キ射撃ヲ開始スル迄ノ間ニ長時間ヲ要スルカ如キ部署ヲ爲スヘカラス此主旨ニ合センニハ騎兵ハ機關銃ヲ軸トシテ其側方ニ運動スルカ如クナルヲ可トス
 機關銃モ亦騎砲兵ト同シク成ルヘク之ヲ分割スルコトナク使用スルヲ可トス(操第二部第五項)
 機關銃ノ陣地ニ要スル條件ハ其要旨略騎砲兵ニ同シ然レトモ其位置敵ニ近ク騎兵ノ掩護ヲ受ケ得サルコト屢ナルヲ以テ成ルヘク敵ノ襲撃ニ對シ安全ナル所ヲ選フヲ要ス

指揮官ハ機關銃ノ射撃開始ニ就テハ特ニ顧慮スルヲ要セス蓋シ射距離短少ナルヲ以テ苟モ敵ニシテ有効射界内ニ入レハ直ニ射撃ヲ始メ以テ射撃時間ノ延長ヲ圖ルヲ要スレハナリ
 機關銃ノ射撃目標ハ敵ノ騎兵就中其主力部隊トス敵ノ機關銃ト對戦スルヲ利トスル場合甚タ稀ナリ敵ノ砲兵ニ對シテハ之ニ近接シテ容易ニ斜射又ハ縱射ヲ行ヒ得ルトキニ限り射撃スルヲ利トス(操第二部第四項)機關銃ハ其火力ノ移動容易ナルト人員ノ一部ハ騎銃ヲ携フル者アルトニ因リ其自衛力大ナルカ故ニ特別ノ場合ノ外掩護隊ヲ附スルヲ要セサルノミナラス却テ騎砲兵ヲシテ此掩護ヲ受ケシムル如ク位置セシムルコトアリ(操第一部第三項)
 騎砲兵及機關銃ヲ有セサル部隊ニ在リテハ其一部ヲ割キテ徒歩戰ヲ爲サシメ該火力ニ依リテ主力ノ攻撃ヲ援助セシムルヲ利トスルコト屢是アリ其部署法ハ略ホ機關銃ニ準スヘシ特ニ此際兩攻撃ノ正シク時機ニ合スルコト及兩攻撃互ニ妨害ヲ爲ササルコトニ注意スルヲ要ス
 攻撃部署ヲ受クルヤ騎兵指揮官ノ傍ニ在リタル各隊長ハ各其部隊ニ復歸スヘキ

モノトス

(4) 展開、襲撃實施

騎兵指揮官攻撃部署ヲ終ルヤ各隊ハ受ケタル命令ニ基キ各其位置ニ就ク之ヲ展開ト稱ス

騎砲兵ノ展開及射

騎砲兵隊ハ通常第一著ニ部署セラレテ陣地ヲ占領ス此際最モ迅速ニ陣地ニ進入シ以テ次テ起ルヘキ騎兵ノ展開ヲ掩護スルヲ要ス其射撃目標ノ撰定及射撃開始ノ時機ニ關シテハ既ニ説述セリ爾後彼我騎兵相近接スルニ從テ益々其火力ヲ敵ノ騎兵殊ニ其主力又ハ我攻撃點ニ集注シ以テ我騎兵ノ攻撃ヲ援助スヘク而シテ彼我全ク接近スルカ又ハ他ノ理由ニ因リ之ヲ射撃シ得サルニ至リ且他ニ射撃スヘキ騎兵(例ハ後方部隊ノ如キ)ナキトキハ敵ノ騎兵新ニ現出シテ好目標ヲ呈スル場合ノ外敵ノ砲兵及機關銃又ハ徒步部隊等ヲ射撃スヘキモノトス(操第二部第二項)騎砲兵隊長ハ騎兵指揮官ト密ニ連絡ヲ保持セサルヘカラス然レトモ獨斷ノ處置ハ更ニ緊要ナリ是カ爲常ニ全般ノ狀況ニ注意シアルヲ要ス(操第二部第二項)騎兵ハ通常騎砲兵ヨリモ遅ク成シ得ル限り敵ニ近接シタル後部署ヲ受ケ展開ヲ

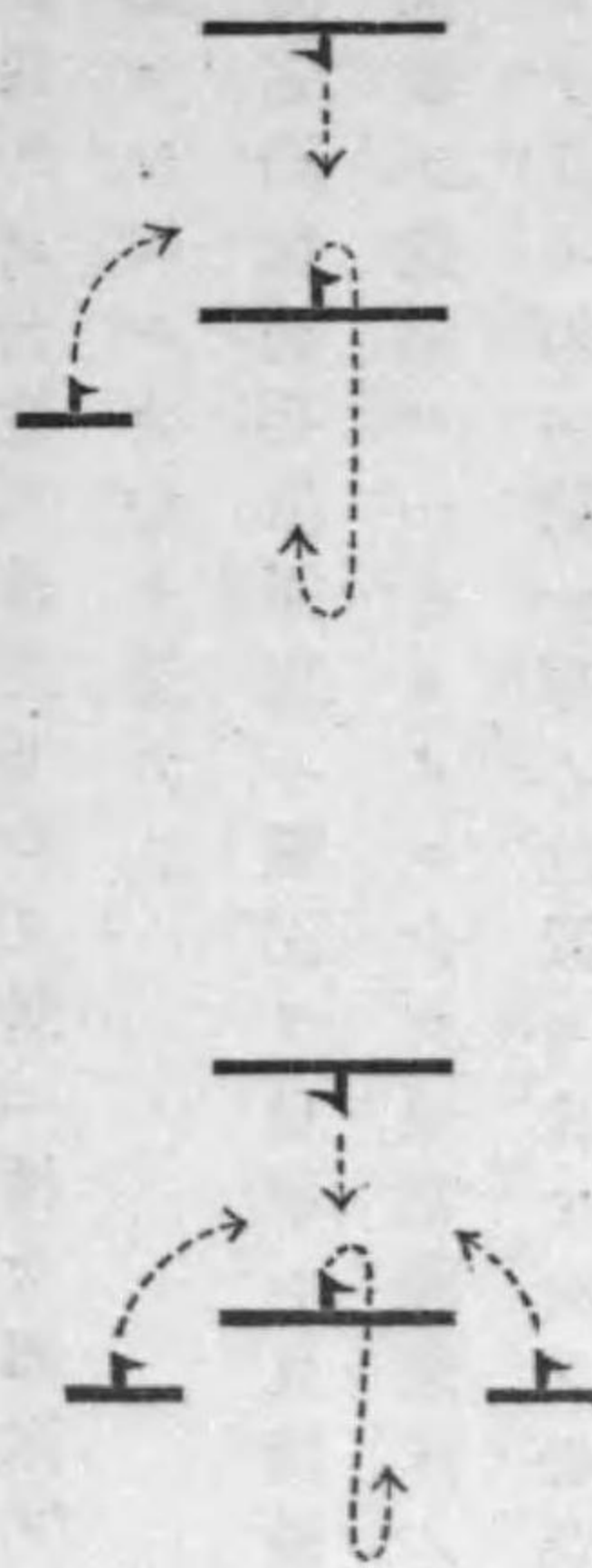
騎砲兵ノ射撃前ノ

始ムルモノニシテ展開スル各隊ハ接近行進ノ要領ニ依リ機動ニ便ナル隊次隊形ヲ取り且隊形ノ撰擇又ハ地形ノ利用ニ依リ敵眼敵火ヲ避ケツツ前進シ地形搜兵及戰鬪斥候ヲ派遣シ(是ヨリ前既ニ派遣スルコトアリ)基準部隊ハ指示セラレタル方向ヲ取り其他ノ部隊ハ此部隊ニ連繫シ秩序ヲ保チ最捷路ヲ取りテ其所定ノ位置ニ到ルヘキモノナリ(操第二部第二十六項)展開完結後ニ於ケル最前線ハ特別ノ目的又ハ狀況變化ナケレハ一意自己ノ目標ニ直進シテ衝突ヲ求ムルノミトス三十年戰ニ於テハ「グスタフ」アドルフ(ハ前進中第一列ヲシテ拳銃ノ一齊射撃ヲ行ハシメ然ル後劍ヲ手ニシテ突入セシメタリ)其他此時代及尙ホ降りテモ先ツ馬上射撃ヲ爲シ次テ突入ニ轉スルノ法廣ク行ハレタリ然レトモ此ノ如キ方法ハ隊ノ正面前ニ在ル將校ヲ害スルト爆聲ノ爲馬匹驚動シテ部隊ノ密集秩序ヲ亂シ戰友相互ニ害セラルルノ危險アルト殊ニ騎銃射撃ナルトキハ一旦停止セサルヲ得ス又更ニ之ヲ負フ爲ニモ時間ヲ費ヤシ而シテ若射撃ヲ行フ能ハサルトキハ突入ノ氣勢ヲ挫クノ害アルカ故ニ不可ナリトスルノ論者輩出シ之ヨリ漸次廢止セララルニ至レリ即チ既ニ「カール」第十二世及「フリ

ドリックヒ、ウイイルヘルム」第一世ハ襲撃前ニ於ケル火器ノ使用ヲ禁シ「フリードリックヒ」大王ノ騎兵ハ唯敵ノ騎兵カ背面シタル後ニ限リ後方ヨリ之ヲ射撃スルヲ許セリ此時ノ命令ニ曰ク諸指揮官ハ聯隊カ馬上ニ在ル間普通騎兵及龍騎兵ヲシテ其騎銃ヲ堅ク結束セシメ遊底ヲ空ニシテ擊鐵ヲ卸サシムルコトヲ名譽ト威嚴トヲ以テ誓フヘシ若普通騎兵又ハ龍騎兵カ短劍ノ外他ノ武器ヲ用フルカ又銃劍ノ外他ノ武器ヲ以テ襲撃スルトキハ體刑及死刑ヲ以テ罰セラレヘシト米國南北戰爭ニ於テ兩軍騎兵ハ密集襲撃ヲ行フコトナク拳銃ヲ以テ接戰ヲ爲シ之ヲ以テ白兵ヨリモ更ニ有利ノ武器トナセリ然レトモ是其國民ノ平素ヨリ拳銃ヲ愛スルコト白兵ニ優リタルト格闘ニ必要ナル乘御及騎行ニ自在ナル馬ヲ有セサリシト又一ニハ地形白兵戰ニ適セサル處多カリシニ因ルモノノ如シ故ニ著名ナル南軍騎兵指揮官「スチュアルト」ノ如キハ拳銃射撃ヲ以テ怯懦ニ原因スルモノトシ拳銃ハ敵ニシテ障礙物ノ後方ニ在ルカ又ハ我徒歩セルトキノミ使用シテ効アリト訓令シタルコトアリ(千八百六十三年)以上ノ經歷アルニモ拘ハス馬上射撃ノ試ミハ近年ニ至ルマテ尙ホ時々現出セリ即チ千八百七十年八月二十七日「ド、デ、ニッセ」大佐ノ率ユル一個

中隊ノ騎兵ハ「ブザンシー」ニ於テ敵ヲ距ル二百米ノ距離ニテ馬上射撃ヲ爲シ次テ白兵戰ニ投入シタリ又南阿戰爭ノ際「ボアー」ハ之ヲ利用セリ此他近年露國將官「スホチン」ハ復ヒ馬上射撃復活說ヲ唱ヘタリ但シ此際同意者少ナク又實地ニ試ミシモ其成績不良ナリシト云フ

以上ノ事實及理由ニ依リテ判斷スルニ突入前ニ於ケル射撃ハ多クハ無効且有害ナルモ時トシテ成効スルコトナキニアラス殊ニ拳銃ハ騎銃ニ比シ稍成効ノ希望多キカ如シ然レトモ現今ノ如キ武器ノ構造ニアリテハ決シテ之カ使用ヲ慫慂スルコト能ハサルナリ即チ先ニ述ヘタルカ如ク展開後ニ於ケル最前線ハ一意敵ニ向ヒ直進スルヲ通常トス



然レトモ特別ノ目的又ハ敵情ノ變化ニヨリテハ急ニ部署ヲ變換スルコトアリ例ヘハ最前線ト梯次部隊トノ任務ヲ交換セシメ元來主攻撃ニ任シタル

襲撃中各部隊ノ變換

最前線ノ
隊形最前線ノ
歩度

最前線ヲシテ敵ヲ誘致セシメ新ニ梯次部隊ヲ主攻撃部隊トシテ敵ノ側面ニ向ヒ
 攻撃セシムルカ如キ是ナリ
 展開完結後騎兵指揮官ハ戰況ヲ目撃シ且豫備隊ヲ手裡ニ掌握スルノ主旨ニ從テ
 其位置ヲ選定スヘキモノニシテ通常豫備隊ノ近傍ニ在ルモノトス然レトモ狀況
 ニヨリテハ尙ホ第一線ノ位置ニ止マルヲ必要トスルコトアリ
 展開完結後ニ於ケル最前線ノ取ルヘキ隊形ハ先ニ述フルカ如ク成ルヘク展開完
 結ノ時機ヲ襲撃方向定マルノ時機ト一致セシムルヲ以テ最良トスルカ故ニ通常
 縦隊横隊又ハ横隊ナリトス然レトモ一層早ク展開セルトキハ襲撃方向定マル迄
 ハ機動ニ便ナル隊形ニアルヲ要ス
 最前線ノ取ルヘキ歩度ハ狀況ニ關ス但シ成ルヘク長ク速歩ヲ持續シ敵前四五
 米ニ至リテ初テ駈歩ニ移リ少シク之ヲ持續シタル後漸次歩度ヲ伸シ敵前五十
 至百米ヨリ襲歩ヲ始ムルヲ以テ密集ノ維持ト衝力發揚ノ關係上最良トスルカ如
 シ
 駈歩ヲ始ムル時機ニ關シ從來諸兵家ノ說ハ敵前三百米ヨリ七百米ニ變化ス稀ニ

ハ五六十米ノ近距離ヨリスルヲ可トスルモノナキニアラサルモ是守舊家ノ僻說
 ト見ルヘシ露國操典ニハ敵前約二百八十四乃至三百五十五米ヨリ始ムヘシト規
 定シ英國操典ノ精神ハ敵前約二百七十四乃至四百五十七米附近ヨリ始ムルヲ可
 トスルモノノ如シ襲歩ヲ始ムヘキ時機ニ關シテハ遠ク云フ者ハ八十乃至百米間
 襲歩ヲ取ルヘシト云ヒ近ク云フ者ハ敵前四十米ヨリ之ヲ始ムヘシト云フ英國操
 典ニハ敵前七十五米ヨリ露國操典ニハ敵前約七十一乃至百四十二米ヨリ英國操
 典ニハ敵前約四十五米以内ヨリ始ムヘシト規定セリ

千八百十三年十月十六日「ライプツヒ」附近ノ會戰ニ於テ「ミューラー」ノ指揮スル騎兵
 集團ハ午後三時頃決戰的突撃ノ爲速歩ニテ前進ヲ始ムルヤ衆目悉ク此攻撃ニ
 集マレリ然レトモ此騎兵カ未タ目標ヲ距ルコト遠キニ既ニ駈歩ニ轉スルヤ騎
 兵ノ事ニ通曉セル「シユワツェンベルグ」ハ直ニ其誤リヲ發見シテ曰ク已矣彼駈歩ヲ
 行ヘリ此襲撃ハ撃退セララルナラント果シテ此馬匹ハ目標ニ達セサル前全ク
 疲勞シ終リタリ
 然レトモ敵火ノ損害ヲ減シ又ハ好機ニ投センカ爲ニハ速クヨリ駈歩ヲ行フノ已


ムヲ得サルコトアリ

最前線ノ兵力敵ヨリ強大ナルトキハ溢出部隊ハ空ヲ衝テ走ルコトナク敵翼ヲ包圍的ニ攻撃スヘク若我兵力敵ヨリ劣ルモ危惧スルコトナク後續スル梯次部隊又ハ豫備隊ニ信頼シテ猛烈ニ敵中ニ突入スルヲ要ス

機拔刀ノ時

拔刀ノ時機ハ成ルヘク遅キヲ可トス是敵ノ士氣ヲ奪ヒ我士氣ヲ敵前近クニ於テ鼓舞スルノ効アルト共ニ長ク馬ヲ制御シ得ルノ利アレハナリ然レトモ是カ爲列ヲ亂シ此恢復ヲ得サル間既ニ敵ト衝突スルカ如キコトアルヘカラス故ニ此時機ハ兵卒熱練ノ程度ニ依リテ異ナルモ普通駈歩ヲ始ムル前ヲ可トスルナラン

時ヲ計リ歩度ヲ巧クニ適用スルノ必要

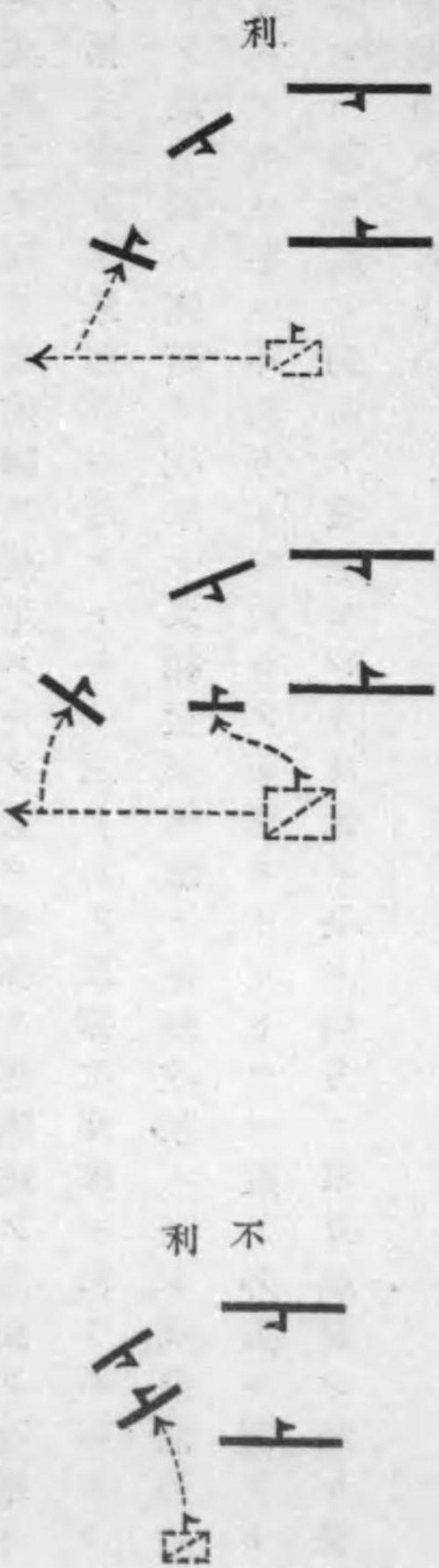
兩軍騎兵横隊ニ排開シテ互ニ前進スルヤ地形及目標ノ形狀明瞭ナラサルヨリシテ其線相平行セス ノ如クナルコトアラシク然ルトキ一方若歩度ヲ早ムレハ他方ヨリ側面ヲ攻撃セラルルニ至ルヘシ又彼我衝突點附近ノ地形ニ依リテハ速ニ此處ヲ越ヘタル後或ハ敵ヲシテ之ヲ越ヘシメタル後衝突ヲ求ムルノ必要ナルコトアリ即チ前進中時ヲ計リ歩度ヲ巧クニ適用スルノ必要ヲ知ルヘシ然レトモ此等ノ顧慮ニ偏シテ逡巡ニ陥リ從テ士氣ヲ損シ衝突力ノ減殺ヲ來スカ如キコトアル

梯次部隊ノ動作

ヘカラス

梯次部隊ハ地形及敵情ニ適應スル隊形ヲ取ルヘキモノニシテ常ニ最前線ニ比シ縦長ノ隊形ヲ維持シ以テ敵翼ヲ包圍シ或ハ我翼ヲ包圍セントスル敵ニ對スル爲必要ナル機動ノ自由ヲ保持セサルヘカラス一般ニ其位置ノ關係上最前線カ横隊ニ移リタルトキ初テ縦隊横隊ニ移リ得ルモノトス又時機ニヨリテハ必ラスシモ横隊ニ排開スルコトナク敵中ニ投スルヲ得ヘシ

梯次部隊長ハ能ク梯次部隊ヲ使用スヘキ地點ト時機トヲ判斷セサルヘカラス前進中敵ノ最前線ノ兵力我最前線ノ兵力ヨリ大ナルコトヲ確認スルトキハ梯次部隊ハ其兵力ヲ以テ最前線ヲ補足スルヲ要ス又梯次部隊敵ノ側面ヲ攻撃スルニハ敵ノ梯次部隊其最前線ニ近キトキハ主トシテ該梯次部隊ニ向ヒ若遠キトキハ主トシテ最前線ノ側面ヲ攻撃シ又梯次部隊敵ノ側面攻撃ニ對シ我最前線ノ側面ヲ掩護スルニハ半ハ外側方ニ轉回シテ前進スルコトナク敵ヲ外方ニ誘フト共ニ爲シ得レハ却テ敵ノ側面ヲ攻撃センカ爲先ツ全ク側方ニ充分運動シ然ル後旋回シテ前進スルヲ可トス



何レノ場合ニ拘ハラス嘗テ述ヘタルカ如ク是非之ヲ必要トセサル限リハ一舉ニ其兵力ヲ使用スルコトナク最前線ヲ助ケテ其成效ヲ確實ナラシメ又ハ其所命ノ任務ヲ達成シ得ル限リニ止ムルヲ可トス蓋シ共ニ混戦ニ陥ルトキハ其兵力多少敵ニ優ルト雖之ニ應スル利益ヲ收ムルコト能ハサルニ反シ梯次シテ存スルトキハ敵ノ豫備隊ヲ誘致シ我豫備隊ヲシテ其側背ニ動作シ得セシムルノ利アレハナリ故ニ梯次部隊ハ其兵力ニ依リテハ自ら又梯次ノ區分ヲナシテ前進シ以テ敵ヲ攻撃スルヲ可トス

翼前ニ在ル梯次部隊モ亦以上ノ主旨ニ依リ動作スヘキモノナリト雖此部隊ハ第

一着ニ敵ト衝突スルノ已ヲ得サルコトアルヲ以テ其隊形及兵力使用ノ關係ハ多少異ナラサルヲ得サルモノトス
從來翼後ノ梯次部隊ハ成ルヘク最前線ト同時ニ敵ニ衝突スヘキモノナリトノ原則ヲ稍偏解シ且其實行法ヲ誤リタル傾向アリ即チ此部隊ハ多少ノ距離ヲ以テ最前線ニ續行シアルカ故ニ最前線ト同時ニ殊ニ之ヲ超過シテ同一ノ敵ノ側面例ハ敵前線ヲ攻撃センカ爲ニハ最前線ハ多少其歩度ヲ短縮セサルヘカラス若此事成シ能ハサルトキハ梯次部隊稍遅クテ敵ニ衝突スルハ自然ニシテ又此ノ如クナルト雖兩衝突ノ時機甚タシク隔タラサレハ敢テ不可ナキモノナリ何トナレハ互ニ接戦ニ陥ルトキハ三十秒又ハ一分間ヲ以テ勝敗全ク岐ルルコトハ殆ント稀ニシテ此間ニハ梯次部隊到達シテ之ニ投スルコトヲ得ヘク若接戦ニ陥ルコトナク敵ニシテ衝突前踵ヲ廻ラストキハ同時ノ衝突ヲ必要トセサレハナリ又元來梯次部隊ハ敵ノ最前線ノ側面ニ對スルヨリモ專ラ敵ノ梯次部隊ニ對シテ使用スル場合多クシテ此場合ニ於テハ彼我最前線ノ衝突時機ニ後レテ彼我梯次部隊ノ衝突ヲ見ルモ毫モ害ナキモノトス

豫備隊ノ
動作

梯次部隊長最前線(主カ)ノ運動ト敵ノ運動トニ依リ動作ヲ規正センカ爲ニハ自ラ最前線ノ近ク迄進出シテ全般ノ狀況ヲ視察セサルヘカラス而シテ部下ニ對シ自己ノ命令ヲ速達スルノ手段ヲ備フルヲ要ス

展開中又ハ展開後ノ前進中地形ノ妨害ニ依リ直接戦闘ニ加入スルコト能ハサルニ至リタル部隊ハ決シテ無爲ニ終ルコトナク速ニ獨斷ヲ以テ他ノ手段ニ依リ攻撃ヲ援助スルヲ要ス是カ爲敵ノ側面又ハ背後等適當ノ處ニ於テ火力ヲ以テ戦闘ニ參與スルヲ得ハ大ニ有利ナリ(操第二部第
二十六後文)

豫備隊ハ第一線ノ全部戦闘ニ從事スルトキニ至リ初テ縦隊横隊ニ移ルヲ得然レトモ尙ホ機動隊形ノ維持ヲ必要トスルコト少ナカラス此者ハ最終迄貯存スルヲ必要トスルカ故ニ假令自ラ戦闘ニ從事スルニ至ルモ必要以外ニ一兵ト雖多ク放ツコトナキヲ要ス而シテ梯次部隊ト同シク騎兵指揮官ハ其使用ノ時機ト使用ノ場所トヲ熟慮決定セサルヘカラス多クハ側方ヨリ其後方部隊ニ對シテ動作スルヲ可トス然レトモ不利ナル接戦ニハ成ルヘク廣キ正面ニ於テ就中正面ヨリ之ヲ投入スルヲ以テ有利トス蓋シ戦闘正面ノ愈廣キニ從テ其側面ニ向フ攻撃ハ効力

包圍ヲ免
ルル方法

ヲ表ハスコト益、少ナク又攻撃ハ空撃トナリ易ケレハナリ是等ノ決定ノ爲豫備隊ハ往、駐止シテ形勢ヲ待ツノ可ナルコトアリ我勝利ヲ得テ尙ホ豫備隊ノ殘餘アルトキハ之ヲ以テ追撃ヲ爲シ若我敗北セルニ拘ラス何等カノ原因ニ由リ尙ホ豫備隊ヲ有スルトキハ之ヲ以テ第一線ヲ收容スヘキモノトス

豫備隊ハ騎兵指揮官自ラ之ヲ使用スヘキモノトス然レトモ非常特異ノ場合ニ在リテハ該隊長獨斷ヲ以テ戦闘ニ投スルヲ得ヘシ

助攻ニ任セラレタル一部ハ通常主力ニ先チテ敵ヲ攻撃シ其兵力ヲ己ニ牽制スルヲ要シ敵ノ騎砲兵、機關銃又ハ徒步部隊ノ襲撃ニ任セラレタル一部ハ主力ヲシテ射撃ヲ受ケサラシメンカ爲廣ク其正面ヲ掩フカ如ク攻撃スルヲ要ス(歩砲兵ニ對
照)

敵若我ヲ包圍セントスルトキハ指揮官ハ或ハ全隊ヲ該側面ニ寄ラシメテ之ヲ免レ或ハ騎砲兵又ハ機關銃ヲ以テ之ヲ擊退シ或ハ包圍部隊ノ運動中ニ捷路ヲ取リテ迅速ニ正面ノ敵ヲ攻撃シ或ハ主力又ハ豫備隊又ハ手近ニアル部隊ヲ以テ包圍部隊ノ側面ヲ攻撃セシムルヲ要ス(操第二部
第二十五)若以上ノ如キ手段ヲ取リ能ハスシテ

機關銃ノ
展開及射

遂ニ包圍ヲ免カレ得サルトキハ密集隊形ヲ以テ圍ヲ突破スルノ外ナシ
 以上述ヘ來リタル所ニヨリ騎兵大部隊ノ攻撃ニ於テ成效ヲ期スヘキ要訣ハ攻撃
 ニ從事スル各單位カ時機及方向ニ就テ能ク協同一致スルニ在ルコトヲ知ルヘシ
 「グエルヂー、ヂユ、ベルノア」ハ第二第三線（梯大部隊）ノ使用ニ關シテ述ヘテ曰ク騎兵ノ
 戰鬪ヲ指揮スルノ術ハ我第二及第三線ヲ利用シテ敵ノ第一線（最前線）ニ後續スル諸
 線ノ動作ヲ所望ノ時機ニ制止スルニ在テ存ス又既ニ激烈ニ至レル戰鬪ニ於テ必
 要ナル場合ニ臨ミ至當ナル時機及要點ニ増加兵ヲ誘致スルニアリト
 機關銃隊ハ騎兵部署ノ前後ニ於テ部署セラレ陣地ヲ占ム此時彼我既ニ接近シ爾
 後射撃シ得ル時間僅少ナルヲ通常トスルカ故ニ最モ迅速ニ動作セサルヘカラス
 而シテ銃隊長ハ騎兵指揮官ト密ニ連絡ヲ保持スルヲ要スルモ亦獨斷ノ處置ヲ要
 スルコト甚タ多キヲ以テ常ニ全般ノ狀況ヲ知ルコトニ力メサルヘカラス（梯大部隊第二
 項）
 機關銃ハ敵騎兵部隊ノ全正面ニ火力ヲ注クヲ可トス（梯大部隊第二項）然ラサルトキ
 ハ終ニ火力ヲ蒙ラスシテ我ニ達スル敵ヲ生スルナラン然レトモ此事爲シ能ハサ

衝突不發
生論

ルトキハ我主攻撃點又ハ敵ノ主力部隊或ハ我ヲ包圍セントスル部隊等重要ナル
 敵ニ向テ射撃スヘキモノトス既ニ敵ノ最前線ヲ射撃シ能ハサルニ至レハ其後方
 部隊ヲ射撃シ又好目標ヲ呈スル敵ノ騎兵ナキニ至レハ敵ノ徒歩部隊等ニ向ヒ射
 撃スルヲ要ス

(5) 衝突

兩騎兵相對シテ襲撃スルトキ衝突ハ通常發生セストスル者甚タ多シ
 「フリードリッヒ」大王ハ伯爵「ド、ヂュッー」トノ會談中ニ於テ格闘ニ陥ルヲ避クルノ必
 要ヲ説テ曰ク襲撃ノ勢力ヲ猛烈ナラシムルハ格闘ニ至ラサル前敵ヲ壓倒退走セ
 シメンカ爲ナリ一タヒ格闘ニ陥レハ秩序紊亂シ衆力ヲ一致シテ使用スルヲ得ス
 將校ノ價值ハ全然兵卒ト異ナラサルニ至ルヘシ之ニ反シ敵騎兵ニシテ衝突前我
 騎兵團ノ勢力ニ壓倒セラレテ退走スルニ至レハ吾人ハ其隊伍ノ紛亂ヲ利用シ若
 干中隊ヲシテ追撃セシムルヲ要ス然レトモ此際全力ヲ擧テ追撃セシムルコトハ
 予ノ決シテ好マサル所ナリト又「ラ、ロツシ、エーモン」ハ説テ曰ク實戰ヲ經歷セサル
 將校ノ多クハ彼我相互襲撃ヲ行フトキハ恰モ二個ノ固形體ノ如ク馬ノ胸部ヲ以

テ相衝突スルナラント思惟スルモ實際ニ在リテハ決シテ然ラス馬ノ體格及其天性ヲ考察セハ斯ノ如キ動作ノ成立セサルコトヲ知ルニ難カラス即チ彼我相衝突スルニ至ルハ甚タ稀ニシテ其隊伍ノ集結不確實ナルモノ士氣ノ旺盛ナラサルモノ先ツ歩度ヲ減シ躊躇ノ狀ヲ顯ハシ遂ニ隊形支離シテ背轉退走シ士氣旺盛ニシテ隊伍ノ集結堅固ナルモノ之ヲ追撃ス彼我武勇匹敵シ指揮宜シキヲ得タル兩騎兵隊衝突スルトキハ相互ニ隊列ヲ突貫シ相混淆スルニ至ル此際勝利ハ軍刀ノ使用ニ巧ミナルモノニ歸スヘシ然レトモ此ノ如キ實例ハ甚タ稀ニシテ予ノ見聞セシモノ僅ニ二回ニ過キスト又「マルモン」ハ衝突ハ敵ヲ追撃スル騎兵ノ努ムヘキ任務ナリトス蓋シ彼我騎兵ノ衝突スルコト稀ナルヲ以テ遂ニ此習慣ヲ養成スルニ至リタルナラン彼我相衝突セントスル際自信力ノ薄弱ナルモノハ先ツ停止シ遂ニ遁走スト説キ「ド、リーニ」公ハ兩騎兵相衝突セハ馬ハ互ニ胸部ヲ以テ相衝クニ至ルヘシトノ往時ノ見解ハ予ノ推察ニ苦ム所ナリ蓋シ此ノ如キハ全然行ハレ難キコトニシテ馬若其胸ヲ相接スルニ至レハ其頭ヲ如何ニスヘキヤ云々ト云ヒ又佛ノ「シャウエンブール」大佐（千八百七十五年八月八日）ハ兩騎兵隊ノ衝突セントスル際武勇ニ乏

シキモノ又ハ猛烈ノ勢ナキモノ又ハ自信力小ナルモノ先ツ背轉退走ス兵力劣勢人馬體格ノ小ナルモノモ能ク勝ヲ制スルハ是カ爲ナリト説ケリ又「ホーヘンローヘ」公ハ客アリテ千八百六十六年（ザドッレ戦ニ於ケル「スト」及千八百七十年「グイオ戦」ノ例ヲ引キテ衝突アルニアラスヤト論シタルニ對シ答テ曰ク是現今ノ騎兵其馬匹ノ調教不完全ニシテ眞ニ密集ヲ維持スルコト能ハサルヨリ來ルモノナリ「フリードリッヒ」大王ノ所謂墻壁的襲撃ヲ爲ストキハ勢力劣弱ノ騎兵ハ到底戰鬪ヲ避クルヨリ他ニ施スヘキ術ナカラント又同公ノ騎兵論ニ載セテ曰ク予少佐ノ時老功ノ兵語テ曰ク自ラ經歷セシ騎兵攻撃十二回ノ中十一回ハ衝突前彼我ノ一方背轉退走セリト「クラウゼウイツ」ハ以上ノ如ク極端ニ論セスト雖接戰ハ必然敵ノ殲滅ヲ主トスルヲ以テ利勢若ハ氣力上僅ニ優勢ヲ占ムル者モ忽チ勝ヲ制シ之ニ反スル者ハ逃遁シテ危險ヲ免レント計ル部隊接戰ニ在リテモ亦然リ唯單獨接戰ニ比シ經過大ニ迅速ナルヲ以テ著ルシク殲滅ノ力ヲ減シ敵ヲ殲滅スルヨリハ寧ロ之ヲ遁走セシムルノ因ヲ爲ス故ニ實際白兵ノ効力ハ殲滅ニ在ラスシテ敵ヲ驅逐スルニ在リ云々ト説ケリ

然レトモ吾人ハ直ニ以上ノ説ヲ信スルコト能ハサルナリ第一ニ引用セル戰例ハ三十年戰又ハ帝國戰及其以前ノモノニ係リ即チ速歩ヲ以テ而カモ途中一旦射撃シタル後襲撃スルノ法廣ク行ハレ又ハ未タ其跡ヲ絶タサル時代ノモノナルカ故ニ此時敵前近距離ニ於テ何レカ先ツ列ヲ亂シ又列ヲ亂シタルモノ背轉退走ノ念ヲ生シ且之ヲ實行シタルハ理ノ當然ニシテ襲撃法ノ然ラシムルモノナリ之ニ反シ現今ノ戰鬪ニ於テハ砲兵ノ火力然ラサルモ射程延伸セル銃火ニ對シ早クヨリ之ヲ冒シテ前進シ漸次歩度ヲ伸シ遂ニ最大速度ヲ以テ突進スルカ故ニ既ニ敵前近距離ニ達シタルモノハ士氣ノ揚カルト共ニ退走ノ念ナク又自然退去シ得スシテ敵ニ達スルナラン第二ニ馬ノ天性ハ衝突ヲ嫌忌スルモノナリト云フモ是豈唯馬ノミナランヤ若人ニシテ毅然トシテ進メハ之ニ導カルルノ馬ハ寧ロ狂暴制止シ能ハサルノ勢ヲ以テ突進スルナラン是吾人カ平時ノ襲撃演習ニ於テ屢々衝突ニ起因スル傷害ヲ見ル所以ナリ第三ニ歐人ノ此説ハ歐人相互間ノ戰鬪ニ於テハ或ハ正當ナルヤモ圖ラレスト雖彼等カ日露戰役ノ實驗ニ依リ初テ銃劍ノ價值ヲ知リ得タルト等シク恐ラク將來我騎兵ノ示スヘキ接戰ノ價值ニ依リ全ク打破セラ

衝突時ニ於ケル要件

ルヘキモノナラン之ヲ我國古昔ノ戰鬪ニ徵スルモ怯懦無爲ノ勢ニアラサル限リハ接戰前反轉スルカ如キ者決シテアラサルナリ此ノ如クナルヲ以テ吾人ハ衝突不發生論ニ賛同スルコト能ハス少クトモ我騎兵ハ一タヒ襲撃ヲ開始シテ敵ニ近クトキハ衝突セスンハ止マサルモノナリ以上ノ理由ニ因リ衝突ハ時ノ狀況ニ依リ或ハ發生シ或ハ發生セサルモノナリト結論スルヲ以テ正當ナリトシ而シテ我騎兵ハ『頑強ナル敵ニ對シテハ衝突後ニ於ケル接戰ニ依リテ初テ勝敗ヲ決スルモノナリ』トノ原則上ニ教育セラルルコト必要ナリト信ス實ニ諸強國ニ於ケル現今ノ操典ハ衝突ノ發生ヲ豫期セサルモノ一モアラサルナリ
衝突ノ當時團結鞏固意思堅確ナルコト最モ緊要ナリ(操典第二十二節)蓋シ此二者ハ士氣ノ振起ト衝力ノ發揚トニ關スルコト最モ大ナレハナリ若夫レ衝突不發生論者ノ唱フルカ如ク敵ノ團結鞏固ナルヲ見テ既ニ士氣沮喪スルモノナリトセハ此必要殊ニ大ナリ而シテ是カ爲ニハ隊伍ノ整頓殊ニ列ノ緊縮及襲歩ニ於ケル速度ノ齊一ヲ要ス
次ニ衝突時ニ於テ最大ノ速力ヲ出スコト必要ナリ其結果ハ主トシテ敵ノ士氣ヲ

壓倒シ兼テ衝力ヲ大ナラシメ得ルモノトス而シテ是カ爲ニハ步度ノ適用ト(4)本節

照地形ノ利用ニ(本節第三章第參照)注意セサルヘカラス

此ノ如クシテ各中隊ハ能ク整頓ヲ保チ明カニ兩列ヲ別チ而カモ最大ノ速力ヲ出シテ敵中ニ突入シ得ルモノトス然レトモ實際ニ於テハ此事甚タ難ク多クハ正面前ニ在ル將校ノ處ニ於テ幾分カ凸出シテ楔狀ヲ呈シ此楔ハ敵ノ弛解セル處多キニ從テ敵ニ作用スルコト益大ニシテ以テ一方ヲシテ遂ニ瓦解スルニ至ラシムルモノナリ是中隊ノ正面ニ少クモ二名ノ將校ヲ置クヲ必要トスル所以ナリ
衝突ノ結果ハ直ニ接戰トナリ又稀ニハ一タヒ貫通シタル後更ニ衝突ヲ求メ遂ニ接戰トナルコトアリ

(6) 接戰

接戰ニ於テハ自由自在ニ馬ヲ御シ得ルコトト白兵使用ノ熟練トヲ必要トス兵卒ハ將校ノ勇敢ナル模範ト鼓舞ノ勵聲トニ依リ滿身ノ勇氣ヲ奮起シテ敵ト格闘スルモノナリ而シテ嘗テ述フルカ如ク小部隊ニ在リテハ格闘ハ間モナク終結シ速カニ一方ノ敗走トナルモ大部隊ニ在リテハ格闘ハ多少ノ時間持續シ戰闘ハ一勝

追撃ニ密
集部隊ヲ
續行セシ
ムルノ必
要

一敗ノ間ニ浮沈スルヲ以テ飽マテ堅忍奮闘スル者能ク最終ノ勝利ヲ收メ彼我混亂ノ群集ハ漸次勝者ノ進行スル方向ニ移動ヲ始メ終ニ全ク敵ノ敗走ヲ見ルニ至ルモノナリ故ニ兵卒ヲシテ危惧退走ハ全般ノ敗滅ニ陥リ之ニ反シ猛烈勇敢ナル動作ハ常ニ勝利ヲ得ヘキモノナルコトヲ銘肝セシメサルヘカラス(操第一八八部第)
格闘ニ從事シ能ハサル部隊ハ集合シテ核心ヲ形成シ以テ接戰ヲ支援シ或ハ不慮ノ變ニ備フヘキモノトス
全ク射撃目標ヲ失ヒタル騎砲兵及機關銃ハ要スレハ陣地ヲ變換シテ新目標ヲ得若ハ爾後ノ射撃ヲ準備セサルヘカラス

(7) 追擊

戰闘勝利ヲ得タルトキハ諸隊ハ直ニ各當面ノ敵ヲ急追シテ之ヲ殲滅ニ陥ラシメサルヘカラス然レトモ此際騎兵指揮官ハ成ルヘク速ニ若干部隊ヲ集結シテ敵ノ逆襲ニ備フルコト必要ナリ(操第一部第三十四第一項)是カ爲衝突前ニ於テ敵反轉退走シタルトキハ一部ヲ放テ敵ヲ捕捉スル如ク追撃セシメ主方ハ密集シテ之ニ跟隨スルヲ要ス蓋シ此ノ如キ敵ノ退却ハ僞走誘致ナルヤモ圖ラレス又假令然ラス

トスルモ其後方部隊ヲ以テ逆襲シ得ルノ状態ニアレハナリ然レトモ狀況ニ依リテハ主力ヲ放チ追撃セシムルヲ利トスルコトアリ例ヘハ敵兵我ニ密接シタル後反轉セシ時ノ如シ而シテ一部ヲ追撃ニ任スル時ハ之ヲシテ至大ノ速力ヲ出サシメ且廣正面ヲ取ラシメンカ爲散開セシムルヲ可トスル(操第一部第百九十六)但シ大部隊ノ散開ハ之ヲ避クルヲ要ス若接戦後敵兵敗退シタルトキハ主力ハ其儘之ヲ急追セシメ速ニ一部ヲ密集セシメテ之ニ續行スルヲ要ス(操第一部第百二十二)蓋シ此際我秩序モ亦紊亂シアルヲ以テ敵ノ一小部隊ト雖新ニ投入シ來ルトキハ形勢忽チ一變スルノ恐アレハナリ敵兵未タ其後方部隊ヲ悉ク使用セサルニ先チテ退却ヲ始ムルトキハ此必要殊ニ大ナリ

追撃移轉ニ際シ我ニ尙ホ密集部隊ノ殘存セルモノアルトキハ直ニ之ヲ放チ敵ノ側面ニ迫マラシムヲ可トス

追撃ハ敵ノ退路ヲ遮斷シ又ハ之ヲ地形ノ障礙ニ壓迫シテ其殲滅スルニ至ル迄續行スヘキモノトス狀況ニ依リテハ之ヲ其友軍ニ壓迫スルヲ利トスルコトアリ然レトモ目的ニ依リテハ長ク敵ヲ追撃スルコトナク速ニ之ヨリ離脱シテ集合スル

集合

ヲ要スルコトアリ

騎砲兵及機關銃隊ハ獨斷危險ヲ顧ミス最モ勇敢機敏ニ動作シテ騎兵ノ戦闘ニ協力セサルヘカラス是カ爲爲シ得レハ現在陣地ヨリ然ラサレハ迅速ニ陣地ヲ前方ニ變換シテ敗退スル敵ヲ射撃シ又ハ敵ノ集合ヲ妨害シ以テ益敵ヲ潰亂ニ陥ラシムヘキモノトス(操第二部第三項第十四)

此ノ如クシテ敵兵全ク離散シ又ハ地形ノ妨害ニ因リ追撃ヲ行フコト能ハサルニ至レハ初テ集合ヲ行フ追撃移轉ニ際シ若ハ追撃中或ハ追撃後迅速ニ集合スルコトハ最モ緊要ノ事項ニシテ而カモ甚タ困難ナルモノナリ蓋シ戦勝歡喜ノ情ハ兵卒ヲ驅テ益突進セシムルト共ニ狂亂セル馬ハ制御ニ難ク號令ハ徹底セサルヲ以テナリ故ニ騎兵隊ハ平時ノ演習ニ於テ須ラク之ニ慣熟セサルヘカラス集合方法ハ操典第一部第九十八第二百二十三ニ掲クル所ノ如シ其先ツ中隊ノ横隊ニ集合スルハ戦闘準備ヲ完全ナラシメンカ爲ナリ

(8) 退却

退却ハ決戦我ニ利アラスシテ生スルコトアリ又稀ニハ攻撃前進中新ニ發生セル

決戦後ノ退却

狀況ノ爲之ヲ行フノ已ムヲ得スシテ生スルコトアリ又特別ノ目的ニ因リ故ラ計畫シテ之ヲ行フコトアリ

決戦後ノ退却ニ於テハ萬事ヲ規定スルヲ得ス若後方部隊殘存セルトキハ之ヲシテ猛烈果敢ニ敵中ニ突入セシメ以テ戰況ヲ挽回センコトニ力メ少クモ收容ノ効ヲ收メシム又騎砲兵及機關銃隊ハ通常ノ場合現陣地ニ止マリテ騎兵ノ退却ヲ掩護スヘキモノトス(操第二部第三項)而シテ此等ノ收容ニ任スル部隊ハ皆騎兵主力ノ爲犠牲トナルモノニシテ主力ヲシテ敵ヨリ離脱セシメタル後ニ非スンハ自己ノ退却ヲ始ムヘカラサルモノナリ此ノ如クシテ敵ト離脱シ得タル軍隊ハ最モ迅速ニ集合シ以テ爾後ノ動作ヲ準備シ茲ニ於テ初テ計畫ニ基ク動作ニ移ルヲ得ヘシ(潰走シタル千騎位ノ部隊ハ敵ノ追撃急ナラサレハ二乃至三千米ノ處ニテ集合スルヲ得此時將校ハ敵ニ面セサル方側ニ突出シテ己ノ傍ニ兵卒ヲ集合セシムルヲ可トスアリ)

攻撃前進ニ移リタル後ノ退却ハ多クハ殲滅ニ陥ルモノナルカ故ニ既ニ敵ト衝突後ハ戰況ノ如何ニ拘ハラズ極力奮闘ヲ繼續シテ戰勢ノ挽回ニ力ムヘク(操第二部)假令未タ敵ト衝突セス單ニ狀況我ニ不利ナル場合ト雖寧ロ進ンテ奮戰シ以テ狀

攻撃前進後ノ退却

故ラニ行フ敵前退却

況ノ改善ニ努ムルカ又ハ敵ヲ突破シテ之ヲ震駭セシムルト共ニ危險ヲ免ルルヲ可トス然レトモ後ノ場合ニ於テハ精練ナル軍隊ニシテ適當ナル部署ヲ以テ退却ヲ實行セハ必スシモ遂行シ得サルモノニアラスシテ狀況ニ依リテハ之ヲ行フヲ要スルコトアリ例ヘハ敵ニ向ヒ攻撃前進中狀況ノ變化ニ因リ續テ前進スルトキハ殲滅ヲ免レス之ニ反シ速ニ處置スルトキハ一部ノ損害ヲ以テ危地ヲ脱出スル望アルトキノ如キ是ナリ此場合ニ於テハ狀況ニ依リ或ハ後方部隊ヲシテ徒歩陣地ヲ占領セシメ或ハ一部ヲ犠牲トシテ敵ヲ攻撃セシメ且機關銃及騎砲兵ヲシテ機ヲ失セス之ニ協力セシムヘキモノトス收容セラレテ退却スル部隊ハ多少ノ秩序ヲ亂スコトアルヘシ故ニ之ヲ適當ニ誘導シテ速ニ安全地帯ニ至リ集合セシメサルヘカラス然レトモ此際成シ得ル限り遅キ歩度ヲ取り以テ潰亂ニ陥ラサルヲ要ス

某目的ヲ以テ敵前近ク背轉スルコトモ右ニ等シク敗退ニ陥ルノ危險アリ然レトモ其出發ノ初ヨリ退却ヲ期シ之カ準備ヲ爲シテ前進シ且收容ノ處置ヲ備フルヲ以テ前者ニ比スレハ實行容易ナリ即チ此部隊ハ初ヨリ退却ニ便ナル隊形ヲ取り

過度ニ敵ニ近ツクコトナク自己ノ背面ニ轉回スル間敵ノ進ミ得ヘキ距離ヲ考量シ適宜退却ニ移ルヲ要ス若若干距離ノ退却後再ヒ反轉シテ敵ヲ攻撃スルノ企圖ヲ有スルトキハ其隊形及配置ハ之ニ叶フ如ク撰定セサルヘカラス梯次配置ハ通常此主義ニ叶フモノトス

(9) 結論

以上述フル所ニ加フルニ嘗テ記述セル乘馬戰奏効ノ要件ヲ以テシ以テ對騎兵乘馬戰ニ於ケル勝利ノ要訣ヲ求ムレハ左ノ如シ

- 一 運動ヲ秘匿シ敵ノ不意ニ出テ奇襲ヲ行フコト
- 二 若シ奇襲ヲ行ヒ得サルトキハ時機到ラハ駿速且適當ニ動作センカ爲成シ得ル限リ兵力ヲ集團シテ敵ニ近接シ十分敵ニ近接スルヤ急速ニ展開シ運動ノ快速ニ依リテ急襲的ニ敵ノ弱點即チ側面又ハ背面ヲ攻撃ス此目的ノ爲其他敵ヲ不利ノ狀況ニ於テ攻撃センカ爲一部隊ヲシテ他ノ方向ヨリ主攻撃ニ協力セシメ或ハ敵ヲ牽制セシメ或ハ敵ヲ過早ニ展開セシムル等ノ處置ニ出ツヘキコト

三 第二項ノ動作中常ニ機先ヲ制スヘキコト

四 縱長區分ヲ爲シテ敵ヲ攻撃シ部隊大ナルニ從ヒ常ニ豫備隊ヲ貯フヘキコト

五 襲撃中火力ニ暴露セサルトキハ徐々ニ步度ヲ伸ハシ馬ノ氣息ヲ養フヘク

若火力ヲ冒シテ前進スルトキハ活潑ナル步度ヲ取ルヘキコト

六 衝突時ニ於ケル團結鞏固ニシテ衝突猛烈ナルコト

以上説述セル對騎兵乘馬戰ノ方法ヲ現今我國ニ於テ一般ニ行ハルル戰闘演習ニ比スルトキハ或ハ複雑巧妙ニ走レルモノト感シ或ハ舊式ニ復スルモノト爲スモノアラシ然レトモ予ヲ以テ現今ノ方法ヲ見レハ甚タシク單純ニ過キ寧ロ戰術ヲ放棄セルノ感アリ蓋シ攻撃ハ横隊ニ至ル迄ノ排開運動ヲ實施シツツ直進シ終ニ敵ノ正面ニ衝突スルニ過キスシテ主力ヲ以テ敵ノ側面若ハ背面ニ向フヘク假令正面攻撃ヲ行フノ已ムヲ得サルコトアルモ併セテ側面又ハ背面ヲ攻撃スルコトヲ勉ムヘシト規定セル操典ノ原則ヲ無視シ全ク運用及機動ナルモノノ存在ヲ認メサレハナリ思フニ此ノ如キ趨勢ニ陥リタル原因ハ一ニハ狹小ニシテ且平坦ナル練兵場ヲ唯一ノ戰場トシテ演習シ實

際ノ戰場ハ多クハ界限ナク且地物アリ地敵アリテ明瞭ニ敵ヲ目視スルコト
難キト共ニ我運動ヲモ秘匿シ得ルコトニ思ヒ及ホササルト一ニハ先制迅速
單簡確實等ノ語ニ眩惑シ運用ト機動トヲ以テ複雑巧妙ノ動作ト僻解セルニ
因ルモノノ如シ今若此ノ如ク演練セラレタル軍隊ヲ以テ諸種ノ運用ニ適シ
機動ニ富ム如ク練成セラレタル敵殊ニ優勢ナルモノニ對スルトキハ其結果
果シテ如何是識者ヲ待テ初テ知ル所ニアラスシテ誠ニ寒心ニ堪エサル所ナ
リ即チ茲ニ特記シテ教育ニ任スル者ノ熟慮ヲ煩サントス

(二) 各部隊ノ戰闘

(1) 中隊

中隊ハ其兵力ヲ多様ニ部署シ種々ノ術策ヲ施スコト能ハサルト其戰闘隊形タル
横隊ト雖運動甚タシク困難ナラサルトニ因リ假令孤立セル場合ト雖通常縦長區
分ヲ爲スコトナク又其他ノ分割ヲモ爲サシテ横隊ヲ以テ襲撃スルヲ原則トス
(操第一節第百八十三第一項)此際翼小隊ハ梯次部隊ト同様ノ任ヲ負フモノトス然レトモ狀況ニ依リ
テハ稀ニ縦長區分ヲ爲スコトアリ例ヘハ甚タシク寡弱ナル敵騎ヲ攻撃スル場合

ノ如シ又一部ヲ分割使用スルコトアリ例ヘハ地形ニ依リ少數ノ兵ヲシテ敵ヲ誘
致セシメ主力ヲ以テ其側面ヲ攻撃セントスル場合ノ如シ

聯隊内ニ在ル中隊ハ他中隊ト密ニ連繫ヲ保タサルヘカラス然レトモ戰況之ヲ要
スルトキハ獨斷ヲ以テ襲撃ヲ決行スルヲ得ヘシ之カ爲中隊長ハ彼我一般ノ狀況
ニ注意スルコト緊要ナリ(操第一節第百八十五)又兩翼ニ在ル中隊ハ必要ト認ムレハ獨斷ヲ
以テ其翼ニ於ケル警戒ノ處置ヲ取ルヲ要ス(操第一節第百十九) 地形搜兵及戰闘斥候派遣ノ方法ハ精シク操典ニ記載セリ(操第一節第百九十八)

(2) 聯隊

聯隊ハ其四中隊ヲ種々ニ部署スルコトヲ得テ多少戰術的運用ヲ爲スニ足ル部隊
ナリ然トモ聯隊ハ尙ホ小部隊タルヲ免レサルカ故ニ假令孤立セル場合ニ在リテ
モ通常豫備隊ヲ設クルコトナク唯必要ニ應シ梯次部隊ノミヲ備ヘタル一線ヲ以
テ攻撃スルモノトス梯次部隊ハ展開ノ初期ニ於テ之ヲ必要トスルコト多シ蓋シ
此期ニ於テハ敵情不明ナルコト多クレハナリ(操第一節第百二十第一項)梯次部隊ト最前線(又ハ
トノ距離ハ約百米ヲ標準トスレハ可ナリ以上ノ如シト雖豫備隊ヲ設クル場合モ

亦無キニアラス例へハ兵力ニ過剩アルトキノ如シ
聯隊ハ又其一部ヲ分割シテ使用スルコトアリ殊ニ騎砲兵機關銃ノ如キ火力ノ援
助ヲ有セサルカ故ニ此際徒歩戰ヲ以テ主力ノ攻撃ヲ援助セシムルコト屢是有り
然レトモ爲シ得レハ機關銃ノ一部ヲ配屬スルヲ可トス時トシテハ騎砲兵ヲモ附
シテ利ナルコトアリ

逐次ノ襲撃ハ屢中隊毎ニ行ハル(操第一部第二項)然レトモ通則ニ於テ述ヘタルカ如
ク爲シ得ル限リ各線殊ニ最前線ノ中隊數ヲ多カラシムルコト必要ナリ

聯隊ノ攻撃前進ニ當リ各中隊ヲシテ能ク連繫ヲ保タシメ又其運動ヲ適切ナラシ
メンカ爲豫メ前進方向ヲ指示スルヲ要スルコトアリ例へハ方向ハ一直線ナラス
地形ハ相互ノ連繫困難ナルトキノ如シ(操第一部第二項)
軍旗ハ主力ノ位置又ハ核心ヲ爲セル處ニ置ク

旅團内ニ在ル聯隊ハ基準部隊ト連繫ヲ保チ自ラ地形ノ偵察及警戒ノ處置ヲ取り
(操第一部第二項)要スレハ梯次部隊ニ依リ縦長區分及側面掩護ノ處置ヲ爲シ(操第一部
第二項)自己ノ正面ニ於ケル戰團ハ自ラ之ヲ遂行シ斯クテ他隊ト協同シ仍テ以テ

全般ノ成果ヲ收ムヘキモノトス

攻撃部署ニ於テ聯隊長ハ基準中隊ニ攻撃目標要スレハ前進方向ヲ示シ梯次スヘ
キ部隊ニ其最前線トノ關係位置ヲ示ス

(3) 旅團

機關銃及騎砲兵隊ヲ有スル孤立旅團ノ戰團法ハ既ニ述ヘタル通則ノ如ク實施シ
得ルモノトス通常各聯隊ヲ併立的ニ使用シ(其配置ハ狀況ニ依リ齊頭又ハ梯次ニ依リ)聯隊ハ自ラ所要ニ
應シテ縦長區分ヲ爲ス豫備隊ハ之ヲ設クルヲ必要トスルコト少ナカラス(操第一部
第二項)蓋シ旅團ノ戰團正面ハ既ニ狹シト爲ササルニ機關銃及騎砲兵隊ノ如キ
處々ニ配置スヘキ部隊ヲモ有シ是カ爲其戰場小ナラスシテ從テ不時ノ事變ノ發
生多ク且旅團接戰ニ陥ルトキハ格闘ハ相當ノ時間繼續シ豫備隊ヲ有スルノ利現
ハルレハナリ

最前線(又ハ)ト梯隊トノ距離ハ百乃至百五十米豫備隊ト最前線トノ距離ハ約二三
百米ヲ標準トスレハ可ナリ

聯隊相互ノ梯次關係ハ旅團長之ヲ命シ聯隊内ノ縦長區分ハ主トシテ聯隊長時ト

シテハ旅團長之ヲ命ス
 旅團長ハ豫備隊ヲ有スルトキハ通常第一線ノ先頭ニ立ツコトナク豫備隊ヲ提ケ
 テ敵中ニ突入スルモノトス機關銃隊長及騎砲兵隊長ハ其隊ノ使用ヲ見ルニ至ル
 迄旅團長ノ許ニ止マル

集團内ニ在ル旅團ハ戰鬪任務ヲ受ケ其指示セラレタル区域内ニ於テ半ハ獨立的
 ノ戰鬪ヲ爲ス如ク部署セラルルカ又ハ他ノ旅團ト密ニ集合シテ集團長ノ統一的
 指揮ヲ受クル如ク部署セラルル場合ニ拘ラス集團長ハ必ス豫備隊ヲ取ルヲ
 以テ旅團内ニハ豫備隊ヲ設クルノ必要少ナク多クハ梯次部隊ヲ備フルヲ以テ足
 レリトス然レトモ翼旅團ニ在リテハ時トシテ之ヲ備フルヲ要スルコトアリ旅團
 長ハ地形ヲ利用シ敵火ノ損害ヲ避ケ且戰鬪準備完全ナル如ク獨斷ヲ以テ其隊形
 ヲ撰定スヘキモノトス
 地形及敵情ニ依リテハ聯隊ヲ各個ニ使用シ又ハ重疊シテ逐次ニ使用スルコトア
 リ(操第一部第二項)
 攻擊部署ニ於テ旅團長ハ基準聯隊又ハ各聯隊ニ攻撃目標或ハ前進方向ヲ示シ且

各聯隊及豫備隊等ノ關係位置ヲ定ム時トシテハ聯隊内ニ於ケル梯次區分ヲ命ス
 ルヲ要スルコトアリ

機關銃及騎砲兵隊ニハ其占ムヘキ陣地進出スヘキ時機及必要ナル意圖ヲ示スヘ
 キモノトス(操第二部第二十二項)

(4) 騎兵集團(三、四旅團)

騎兵集團ノ戰鬪法モ既ニ述ヘタル通則ヲ全然適用シ得ルモノトス
 集團ハ多クハ開進ヲ行フノ必要ヲ生スルモノナリ然レトモ必ラスシモ一地ニ密
 集セシムルヲ要セスシテ相互ノ連絡確實ニシテ爾後ノ使用ニ妨ケナケレハ各旅
 團又ハ各聯隊毎ニ此處彼處ニ開進セシムルモ妨ケナシ
 接近行進ニ當リテハ基準旅團ニ行進方向ヲ示シ他ノ旅團ハ之ニ連繫シテ多クハ
 梯次ノ關係ニ置カル然レトモ時トシテハ齊頭面ニ置カルコトアリ(操第一部第四十一項)
 各旅團ハ時ノ狀況ニ適スル如ク各個ニ其隊形ヲ撰定スヘク其運動モ亦多クノ自
 由ヲ許サルヘキモノナリ前進ハ屢地區毎ニ行ハル
 攻撃ノ爲ニハ通常各旅團ヲ併立的ニ使用シ且之ヲ梯次セシム各旅團ハ各縱長區

分ヲ爲シ又側面掩護ノ處置ヲ取ル豫備隊ハ必ラス之ヲ設ケ其兵力ハ通常一聯隊乃至一旅團トス(操第一部第百四十二)騎砲兵ハ通常之ヲ纏メテ騎兵集團長ノ直轄トナス機關銃モ亦成ルヘク集團シテ使用スルヲ可トスルモ寧ロ旅團ニ分屬シアルヲ以テ有利トスルコト屢是有リ(操第一部第三十九)狀況若集團ヲ集合シテ使用シ得サルトキハ各單位ノ指揮官ニ充分獨斷ノ餘地ヲ與ヘサルヘカラス而シテ此場合ニ於テハ機關銃ハ勿論時トシテハ騎砲兵ヲモ該單位ニ分屬スルヲ可トス各旅團長ハ通常集團ノ橫廣ナル配置ヲ取リテ接近行進ヲ始ムル時機迄集團長ノ許ニ在リ其後ハ自己旅團ヲ引率シ而シテ諸種ノ手段ニ依リ絶ヘス集團長ト連絡ヲ維持スヘキモノトス集團長ニ直屬スル機關銃及騎砲兵隊長ハ攻撃部署ヲ命セラルル迄集團長ノ傍ラニ在ルヲ通常トス攻撃部署ヲ命スル要領ハ旅團ニ於テ述ヘタル所ノ如シ

歐洲諸強國ニ於ケル騎兵ニ對スル乘馬

戰ノ傾向

獨逸

戰鬪ノ原則殆ント我ニ同シク攻撃部署ヲ大體ニ二法ニ分ツ翼的部署及戰列部署是ナリ翼的部署ハ即チ併立配備ニシテ是對騎兵戰ニ於ケル通常ノ配備ナリ戰列部署ハ即チ重疊配備ナリ嘗テ最前線ヲ強大ニスヘキコトヲ極端ニ獎勵シタルモ今ヤ之ヲ改メ目的ヲ達スルニ必要ナル兵力ニ止ムヘシト規定セリ然レトモ之ヲ佛國ニ比スレハ今尙ホ第一線殊ニ最前線ニ多クノ兵力ヲ用フルノ傾アリ敵ノ側面ヲ攻撃セントスル部隊其側面ノ危險ニ備ヘンニハ地形ニ托スルヲ第一ノ守護トシ兩翼上ニ砲兵或ハ機關銃ヲ配置スルヲ最モ充分ナル警戒トシ其他梯隊配備ハ有効ナル對抗手段ナリトナセリ聯隊獨立ノ時ハ通常梯次部隊ヲ設クルモ亦或ハ之ヲ設ケサルコトアリ例外ノ場合ニハ一中隊ヲ戰列關係ニ隨從セシム旅團内ニ在ル聯隊ハ必要ニ應シ縱長區分ヲ爲シ多クハ梯隊隊次タルヘシ旅團ハ狀況ニ依リテハ一中隊ヲ戰列關係ニ跟隨セシメ得ルモノトナセリ(以上戰列關係ニ在ル中隊ハ即チ支援中隊ナリ)

衝突ハ發生スルモノナリトノ觀念ノ下ニ萬事ヲ規定ス
其他略我ニ同シ

佛蘭西

攻撃部署ニ於テ攻撃線(最前線)ハ敵ヲ擊滅スルニ足ルヘキ兵力ヲ使用セサルヘカラ
ス其他ノ部隊ノ攻撃線ニ對シ縱長ニ梯次シテ其戰鬥ヲ支援シ又ハ之ヲ進抄セシ
ム尙ホ此他ニ控置シアル豫備隊ハ決戰ヲ誘導スト規定セル處ハ殆ント獨國ノ原
則ニ全ク同シキノ觀アルモ之ニ比スレハ縱長ニ部署スルノ傾多ク即チ孤立中隊
ト雖要スレハ豫備隊ヲ取ル規定ナリ又配備ニハ一定ノ形式ヲ設ケス唯諸戰鬥部
隊カ互ニ援助シ得ル準備ヲ爲シ在ルヘキヲ以テ唯一ノ原則トスト規定シ主義ニ
於テ併立的使用ヲ採用セルモ其實行ニ於テハ多少獨國ト異ナリテ寧ロ騎兵指揮
官ノ部署ニ依リテ梯次ノ配備ヲ取ラシムルヲ通則トスルモノノ如シ例ヘハ師團
内ニ在ル旅團其兩聯隊ヲ齊頭面ニ併列スルトキハ師團長ハ他ヨリ取リタル部隊
ヲ以テ之ヲ援助セシムルノ規定ノ如キ是ナリ嘗テ獨國新騎兵操典ノ發布セラレ
タル當時現ハレタル兵學界ノ意見ニ曰ク併列單位ノ區分法ハ騎兵戰ノ勝敗ニ重

大ナル關係ヲ有スル各單位砲兵相互ノ協力及豫備ノ貯蓄確實ナラサルヲ以テ地
形上又ハ兵力非常ニ大ナルトキ(例ヘハ騎兵軍團ノ如キ)ニ使用スル臨時ノ區署ニシテ一般ニ
ハ縱長區署ヲ爲スヲ可トス併列的區分ハ命令指揮困難ニシテ上下ノ信任非常ニ
厚カラサレハ危險ナリト

往時ニ於テハ線列騎兵、輕騎兵、重騎兵ノ使用法ヲ異ニシ從テ師團ハ線列騎兵タル
龍騎兵旅團、輕騎兵タル驃騎兵又ハ乘馬獵兵旅團及重騎兵タル胸甲騎兵旅團ヨリ
成立シ槍ヲ有スル龍騎兵旅團ハ第一線トナリテ第一ニ敵ニ當リ輕騎兵ハ第二線
トナリテ敵ノ側面ヲ包圍シ胸甲ヲ着ケタル胸甲騎兵ハ第三線即チ豫備隊トナリ
テ決戰ヲ求ムルヲ通常トセリ(胸甲騎兵ヲ第一線、龍騎兵ヲ第二線、輕騎兵ヲ第三線、今ヤ
三線トシテ使用スル例トシタル時代モアリ)此ノ如キ傾向大ニ減少シタルモノノ如シト雖尙ホ其武裝ハ舊態ヲ維持シ且師團
ハ或ハ線列騎兵、輕騎兵、重騎兵ヨリ成リ或ハ戰列騎兵ト重騎兵又ハ線列騎兵ト輕
騎兵ヨリ成リ而シテ重騎兵ヲ交フルモノ大部分ヲ占ムルヲ以テ見レハ線列騎兵
ト重騎兵トヲ以テ戰鬥ノ主要ナル勢力ト認ムルヤ明カニシテ從テ其使用モ多少
異ナルヤ疑ヲ容レヌ

火力ノ協力ヲ重要視セリ從テ操典上ニ支援歩兵ノ用法ヲ掲ケ又徒步戰ノ併用ヲ唱道セリ

孤立聯隊以上ノ部隊ハ必ラス豫備隊ヲ取ル孤立中隊モ亦必要ト認ムレハ一小隊ノ豫備ヲ控置ス攻撃前進ニ當リ聯隊ハ屢中隊毎ノ梯次配備ヲ採用ス

地形搜兵及戰鬪斥候ノ外警戒ノ爲搜兵分隊又ハ小隊或ハ尙ホ大ナル部隊ヲ派遣スルノ規定ナリ

乘馬散開シアルトキ馬ノ傍ニテ韁ヲ腕ニシ射擊シ得ルノ規定アリ恰モ露國ノ「ラ」動作ニ類ス

衝突ハ或ハ發生シ或ハ發生セサルモノトシ襲歩ハ敵前五十乃至六十米ヨリ始ム此際小隊長ハ部下ヲ提ケ中隊長ノ線ニ出ツヘキモノト規定セリ(則チ各指揮官皆小)

機關銃ハ主トシテ騎兵旅團ニ附ス抑佛國ノ戰術ハ常ニ獨國ニ對抗スルノ觀念ニ基キ定メラルルモノニシテ思フニ

對騎兵乘馬戰ニ於テハ次ノ如キ意見ニ基キ大體ノ戰鬪法ヲ定メタルモノノ如シ獨逸人ハ天性秩序ト法式トヲ好ムカ故ニ戰場ニ於テモ常ニ平時ヨリ定メタ

佛國戰術
ノ根本的
觀念

ル法式ヲ採リ來ルナラン則チ橫廣ノ壁ヲ以テ猛獸ノ如ク直進スルナラン是實ニ獨人ノ遲鈍ナル天性ニ合ス之ニ對シ佛人ハ變轉自在ナル隊形變換ニ依リ自由ニ機動シ切迫ノ時期ニ及ヒテ地形ノ利及其他ノ好機ヲ捉ヘテ敵ノ弱點ヲ衝クヲ可トス

此ニ於テカ特ニ縱長配備ヲ採用シテ機動ヲ便ナラシメ且之ヲ騎兵指揮官ノ意志ニヨリテ部署シ以テ併列的使用ヨリ當然生スヘキ弊害タル正面ノ過大ノ擴張、結合力ノ薄弱、兵力ノ過早ノ使用等ノ缺點ニ乘セントスルモノノ如シ

夫レ戰術ハ豫想スル對手國ノ狀況ニ依リ定ムヘキモノナリト雖其互ニ競フテ反對ノ戰法ヲ講スルコト獨佛ノ如キニ在リテハ寧ロ奇觀ヲ呈セリ故ニ兩國ノ戰術ヲ研究スル者能ク茲ニ著眼スルヲ要ス然ラスンハ往、純粹戰術ヲ誤解スルニ至ラン

奧地利

三中隊ニ充タサル部隊ハ通常豫備隊ヲ設ケサルモ三中隊ノ大隊ハ半中隊聯隊ハ一中隊ノ豫備隊ヲ設クルヲ通常トス豫備隊ハ第一線ノ後方及側方百五十米乃至三百米ニ縱隊ヲ以テ位置ス中隊展開橫隊ヲ以テ攻撃スル際一部ヲ以テ敵ノ側面

ヲ脅威又ハ攻撃セントスルトキハ中隊長ハ翼小隊ヲ指定ス聯隊正面攻撃ニ際シ同時ニ敵ノ側面ヲ攻撃セント欲セハ攻撃前進前又ハ攻撃間一ノ翼中隊ヲ指定ス中隊其側面ヲ脅威セラルトキハ當該翼ノ小隊ハ命令ナクトモ之ヲ掩護スヘク又攻撃正面ノ兵力四中隊乃至六中隊ナルトキハ翼小隊ハ命令ナクトモ守勢側面トシテ後方及側方四十五米乃至六十米ニ跟隨スルノ規定ナリ若攻撃正面ノ兵力一聯隊以上ナルトキハ一中隊ヲ用フルヲ例トス工兵小隊ハ聯隊ノ後方百十二米五十ノ處ニ跟隨シテ援助隊トナル

旅團以上ノ部隊ハ地形有利ナルトキハ攻勢側面トシテ一部隊ヲ側前方ニ出スコトアリ此部隊ノ任務ハ敵ノ側背ニ動作シ之ヲ混亂ニ陷レ其兵力ヲ分割セシメ以テ主力ノ攻撃ヲ容易ナラシメ又ハ之ヲ援助スルニ在リ此部隊トシテハ多クハ舊前衛(通常兵力ノ四分)ヲ其儘用フ

騎兵ノ大部隊(旅團以上)ハ最モ多クノ場合其兵力ヲ三分シ殊ニ強大ナル一群ヲ強力ナル突撃ニ第二群ヲ其協力及直接ノ援助ニ第三群ヲ豫備ニ充ツルヲ以テ最モ適當ナル方法トナシ而シテ多クハ共同ノ攻撃目標ニ對シ群毎ニ集中的ニ攻撃セシム

然レトモ又戰列區分(獨ノ所謂戰列部署トハ異ナリ注意スヘシ)ヲ以テ攻撃スルコトアリ此場合ニ於テハ三戰列ニ區分シ通常第一戰列ノ兵力ハ全兵力ノ約半數第二戰列ノ兵力ハ全兵力ノ約四分ノ一トス而シテ第二戰列ハ第一戰列ヨリ二百二十五米ノ距離間隔第三戰列ハ第一戰列ヨリ三百乃至三百七十五米ノ距離ト二百二十五米ノ間隔トヲ取ル若攻撃側面ヲ設クルトキハ通常第二戰列ヲ備フルコトナシ

〔襲撃ニ〕ノ令ハ開濶地ニ於テハ敵前約七百五十米ニテ下ス駈歩ヲ始ムル時機ハ奇襲シ得ルヤ否ヤニ依リ一定セス(則チ襲撃ニノ令ハ駈衝突ノ發生ヲ豫期シ襲歩ハ敵前七十五米ヨリ取ルノ規定ナリ)

露西亞

各指揮官ハ襲撃ニ際シテハ遂ニ小隊長ノ線ニ入ル

中隊ハ全力ヲ擧ケテ襲撃スルヲ原則トス然レトモ包圍セララルル恐アルトキハ一小隊ヲ梯次ニ置キ又特別ノ場合ニハ一小隊ヲ豫備隊トシテ殘留シ得ルノ規定ナリ孤立聯隊ハ戰鬪部隊ト豫備隊トニ區分スルモ旅團内ノ聯隊ハ之ヲ要セサルコトアリ戰鬪部隊ト豫備隊トノ距離ハ四百步(二百八十米)以內トス戰鬪部隊ハ要スレハ

梯次區分ヲ爲ス旅團以上ノ部隊ハ必ス豫備隊ヲ設ク
 戰鬪隊次ニハ形式ナク其部署法ハ全ク時ノ戰鬪狀況ニ關シテ定ムルモノトス即
 チ從來ノ三戰列戰法ヲ廢シ之ニ代フルニ獨立任務ヲ有スル各團ノ協同動作ニ依
 リテ目的ヲ達成センコトヲ期スルモノナリ
 機關銃隊ハ之ヲ分割シテ各戰鬪團（若干中隊、聯隊又ハ旅團）ニ附スルカ或ハ之ニ特別ナル獨立
 任務ヲ與ヘテ動作セシム然レトモ全隊ヲ集團シテ使用スルハ特別ノ場合ニ限ル
 モノトナセリ

「ラ」戰

露國ニ於テハ「ラ」ナル特別ノ戰鬪法アリ以下單簡ニ其要點ヲ記述セントス
 「ラ」ハ韃靼語ニテ中央ニ向フ快走ヲ意味シ元來亞細亞ノ乘馬民族ノ慣用セシ動
 作ナリシヲ傳習シテ「コザック」騎兵ノ戰法タリ千八百十三年奈翁ノ退軍ヲ追撃シテ
 効アリ殊ニ所謂不死ノ「プラトフ」ニ依リ「ルネブルグ」ニ於テ偉大ノ効ヲ奏シタル以
 來益々露人ノ尊重ヲ得シカ今ヤ正規騎兵ニモ亦此戰法ヲ採用スルニ至レリ
 「ラ」戰法ヲ適用スル場合左ノ如シ

一 攻撃ニ先チ敵ノ密集部隊ヲ混亂セシムル爲

二 我攻撃ニ便ナル方向ニ敵ヲ誘致スル爲

三 敵ノ搜索企圖ヲ妨害スル爲

四 我機動ヲ蔭蔽スル爲

五 地形及敵情偵察ノ爲（多シテ徒歩兵ニ對シテ行フ）

六 敵ノ攻撃ヲ遲緩セシムル爲

七 退却スル敵ヲ追撃捕獲スル爲

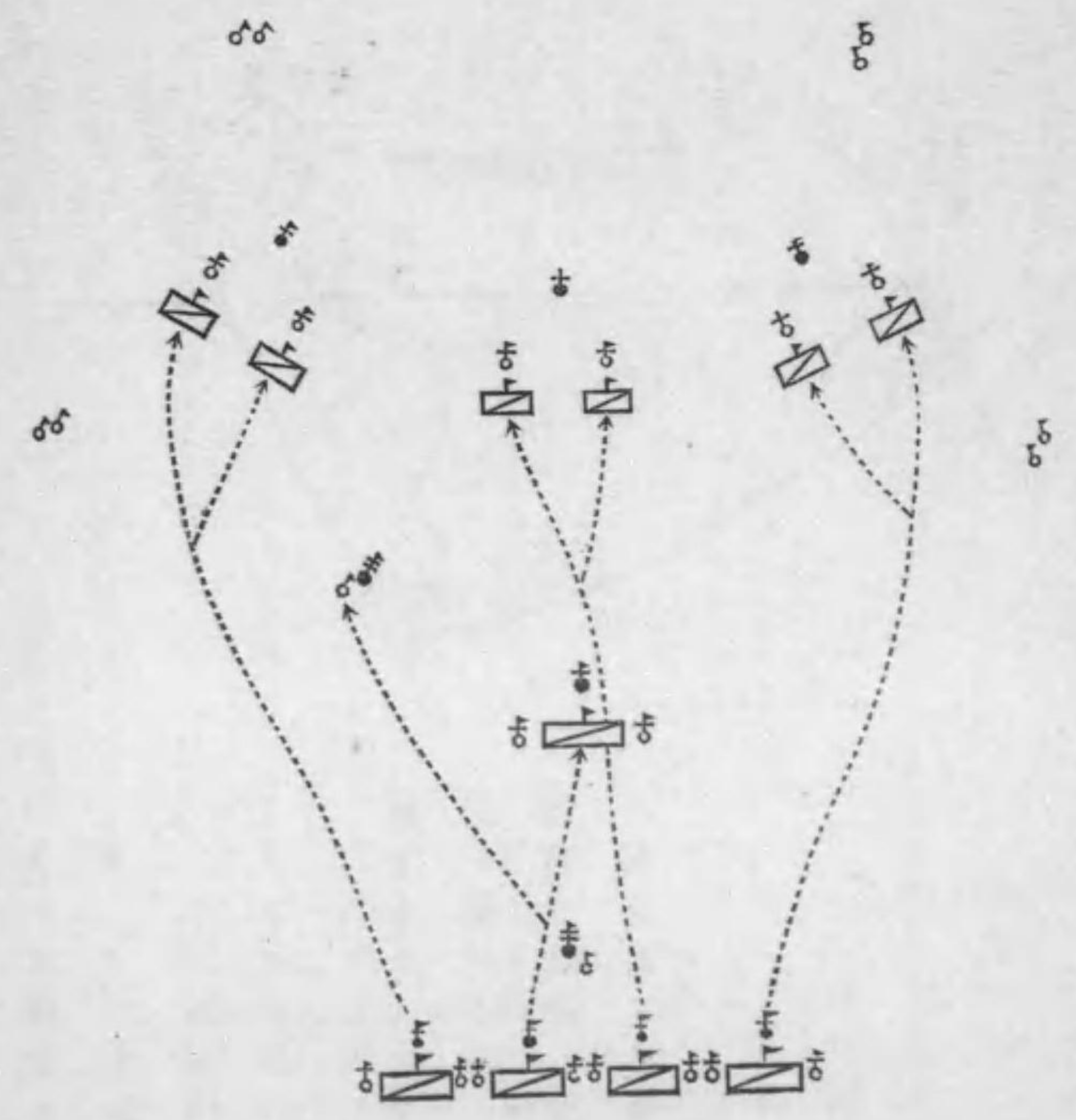
八 敵ヲ擾亂スル爲

「ラ」ハ中隊及聯隊ヲ以テ之ヲ行フ
 中隊ヲ以テ行フニハ之ヲ第一線部隊ト援隊トニ區分ス特別ノ場合ニアリテハ全
 中隊ヲ第一線ニ使用ス但シ此際一分隊ヲ集合核心（マヤーク）トシテ殘置スヘキモ
 ノトス獨立中隊ニ在リテハ必ス一小隊ノ援隊ヲ有セサルヘカラス蓋シ「ラ」最
 後ノ成果ハ適時ニ密集襲撃ヲ行フコトニ依リテノミ獲得セララルモノナレハナ
 リ

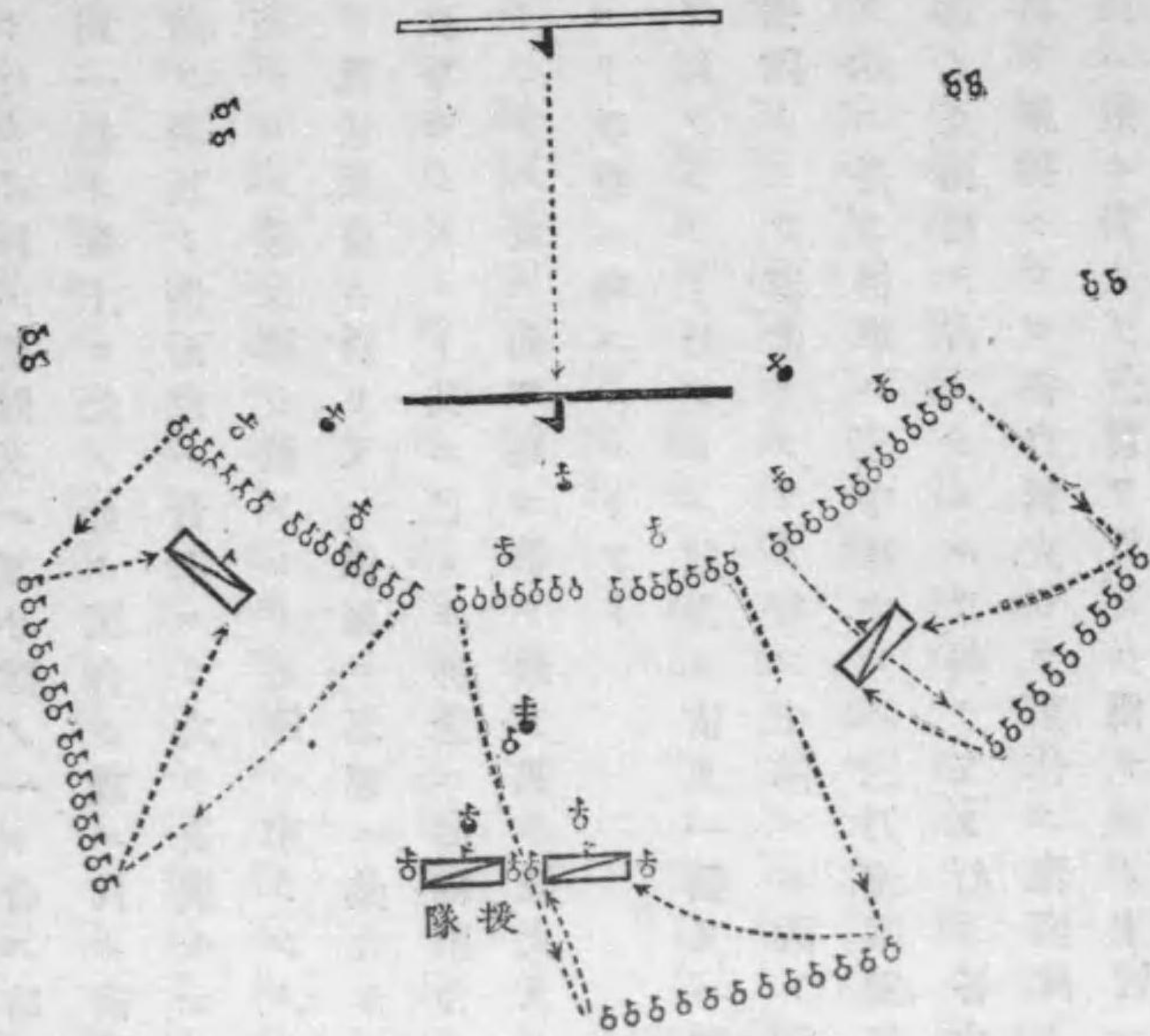
第一線ノ各小隊ハ先ツ兩翼下士ノ指揮ニテ半小隊宛ノ群ニ分ル其間隔ハ不同ニ

シテ要スレハ連絡ヲ失ハサル限リ離隔スルコトヲ得而シテ爾後ニ於ケル各群ノ
 隊形及動作ハ狀況ニ應シ或ハ散開シ或ハ密集シテ攻撃ヲ準備シ或ハ全部又ハ一
 部ヲ徒步シテ射撃セシムル等自由ナルモノトス(射撃ハ徒步シテ爲スニ通則シ
 開部隊止ニ對シテ多クハ敵ノ密)若一般ニ散開ノ命令アルトキハ各群ハ一列ニ散開ス各
 兵卒ノ間隔ハ時ノ狀況ニ依リ變化ス此ノ如キ散開ハ敵ノ有効射界内ニ入りタル
 後行ハルルモノナリ
 援隊ハ第一線ノ後方ニテ之ヲ支援スル爲最モ便ナル處ニ位置ス集合核心ハ中隊
 長ノ指示ニ依リ位置ヲ定メ若此指示ナキトキハ第一線ノ中央後ニシテ之ヨリ百
 乃至二百步(七十四米乃至)ノ處ニ位置ス
 中隊ニ於ケル「ラ」動作ノ形狀ヲ圖示スレハ左ノ如シ

期初ノ開展「ラ」
 (スセ開散タ未群各)



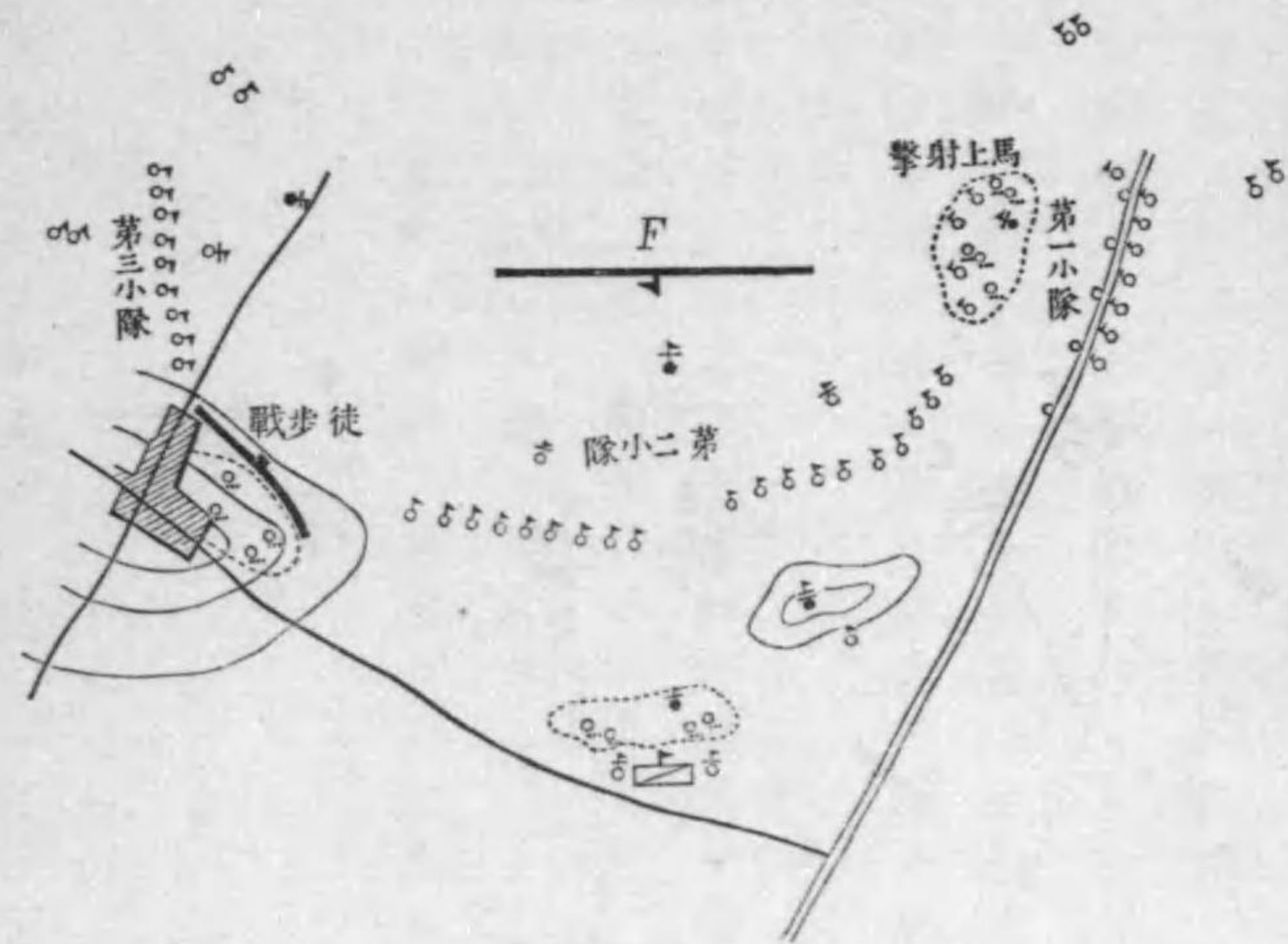
合閉ノ每翼ノ隊中ルセ爲ヲ動行[ワラ]



第二篇 戰圖 第二章 基本戰圖 第一節 乘馬戰 第六 騎兵ニ對スル戰圖

「ワラ」行動適用法ノ一二ヲ
 例示スレハ左ノ如シ
 (1) 密集セル敵ニ對シ正
 面及側面ヨリ攻撃スル
 ニハ翼毎ニ閉合ノ法ヲ
 適用ス
 第一線ノ各小隊ハ距離
 ヲ得ンカ爲並敵ヲ惑亂
 セシメンカ爲援隊ノ正
 面ヲ開ク如ク各種ノ方
 向ニ退却シ然ル後急ニ
 反轉シ行進中ニ閉合シ
 ツツ前進シ來ル敵ニ對
 シ兩翼小隊ハ敵翼ヲ攻

隊中ルへ行ヲ[ワラ]



敵若中央ニ向テ攻撃シ來レハ
 第一第三小隊ハ密集シテ敵ノ
 側背ヲ攻撃シ援隊及第二小隊
 ハ其正面ヲ攻撃ス

撃シ中央小隊ハ援隊又ハ翼小隊ノ一ト合ス時宜ニ依リ豫メ退却ヲ行フコトナク第一線ノ線上ニ此ノ如ク閉合シ或ハ尙ホ前進シテ之ヲ行フコトアリ

(2) 敵ヲ誘致シ側面或ハ背面ヨリ之ヲ奇襲センカ爲ニハ先ツ爲シ得ル限り敵ニ近接シタル後反轉シ敵ヲシテ追躡シ來ラシメツツ歩度ヲ増加シテ退却シ以テ敵ヲ我伏兵前ニ誘ヒ又ハ側面ニ迅速ニ集合セル他ノ「ラワ」部隊前ニ導キ之ヲシテ攻撃セシムルト共ニ己レモ亦急ニ回轉閉合シテ一翼ヨリ攻撃ス
時トシテハ此ノ如キ法ニ依リ敵ヲ我小銃火又ハ機關銃火ノ許ニ導クト共ニ翼側ヨリ攻撃ニ轉スルコトアリ

聯隊ヲ以テ「ラワ」ヲ行フニハ狀況ニ依リ一個又ハ數中隊ヲシテ之ヲ行ハシメ殘餘ハ豫備隊トシテ密集ス「ラワ」ヲ行フ中隊ニハ敵ト衝突スル迄「ラワ」ヲ維持スヘキ正面幅ヲ示ス是カ標準ハ三中隊ナレハ三乃至四露里(一露里ハ千六十七米ナリ)四中隊ナレハ五露里迄ノ正面幅ヲ占メシムルヲ得「ラワ」ヲ行フ各中隊ハ中隊ノ「ラワ」ノ法ニ依リ互ニ連絡ヲ維持シツツ各自獨立シテ動作ス豫備隊ノ位置ハ第一線ヲ支援シ之ヲ收容シ或ハ敵ニ對シテ急襲ヲ行フニ便ナルノ主旨ニ基キ之ヲ定メ一佐官之ヲ指揮

ス他ノ佐官ニハ「ラワ」ノ若干中隊ヲ合セ指揮セシムルコトアリ
聯隊若機關銃ヲ有スルトキハ之ヲ「ラワ」ヲ行フ部隊ニ附スルコトアリ
聯隊長ハ全聯隊ノ指揮ニ最モ便ナル位置ヲ撰ミ副官喇叭手ノ外豫備隊ヨリ出ツル傳令將校一及「ラワ」ノ各中隊ヨリ出ツル傳騎各二ヲ從フ
全聯隊ノ攻撃ハ聯隊長ノ意見ニ依リ「ラワ」ニ依ル準備全クシテ襲撃ノ好機到レル時之ヲ行フ是カ爲「ラワ」部隊ニ命令ヲ送り又豫備隊ヲ敵ニ對シテ誘導ス

伊太利

新操典ノ「戰鬪通則」ナル部ハ未タ發布セラレサルヲ以テ大部隊ノ用法ニ關シテハ今茲ニ記述スルヲ得ス故ニ以下單ニ小部隊ノ用法中注目スヘキ二三ノ事項ヲ述フルニ止メントス

接近行進ニ於テ小隊ハ途上縱隊中隊ハ閉收縱隊數中隊ノ部隊ハ中隊縱隊及重複縱隊ヲ用フルヲ可トシ而シテ此行進中攻撃計畫定マルヤ爲シ得レハ一旦休止スルヲ可トス此時ニ於ケル隊形ハ中隊ニ在リテハ閉收縱隊數中隊ニ在リテハ集團ヲ可トス次ニ展開シツツ敵ニ近接スルニハ以上示ス所ノ隊形ヲ用キ得ルモ若地

形或ハ敵火ノ狀況之ヲ不利トスルトキハ中隊ニ在リテハ排開縱隊數中隊ニ在リテハ縱隊橫隊ヲ可トシ且甚タシキ斷絶地ニ在リテハ各縱隊ハ自然ニ群ヲ成形スルナラン

聯隊ハ敵ノ兵力我ヨリ少ナルトキハ豫備隊ヲ設ク

伊太利平地ノ大部分ニ於ケルカ如キ甚タシキ蔭蔽地ニ於テハ大團結ノ集合隊形ヲ取リテ襲撃スルコト不可能ナルヲ以テ通常各中隊ニ主攻撃目標及副攻撃目標ヲ分配シ指揮隊形ノ撰擇間隔ノ保持ニ關シテ自由ヲ與フルヲ可トストセリ
衝突ノ發生ヲ豫期シ突入ヲ以テ最モ重要ナル決勝的動作トナセリ
襲撃ニ際シテ聯隊長中隊長ハ皆小隊長ノ線ニ入ル

英吉利

接近行進中時トシテ前衛ニ敵ヲ欺偏シ之ヲ誘致スルノ任ヲ與フルコトアリ攻撃配備ニ於テ二中隊以上ノ部隊ハ通常縱長區分ヲ爲シテ梯次セシム二個旅團ヨリ成ル部隊ハ一線ニ一旅團以上ヲ使用スルコトナシト規定シ慎重ナル敵情視察並彼我ノ距離及時間ノ精密ナル計算ヲ以テ適當ナル時期ニ於テ襲撃ヲ指導スル爲

緊要ナル條件ナリトナセリ

橫隊ニ移ルトキハ部隊間ノ間隔ヲ閉縮ス衝突ノ爲必要ナル運動勢力ヲ得ンカ爲ニハ通常敵前三百乃至五百ヤード(一)ヤードハ九十ニテ襲撃ニヲ令スヘク(後)此(ニ)移五十ヤードニ達スル迄ハ襲ヘヲ令セス衝突ハ或ハ發生シ或ハ發生セサルモノトナシ襲撃ノ際聯隊長中隊長等ハ皆小隊長ノ線ニ入ルヘキモノト規定セリ
機關銃ハ通常騎砲兵ノ外翼前ニ使用ス

第七 步砲兵ニ對スル戰鬪

步砲兵ニ對スル戰鬪ノ特色ハ敵ハ運動力ト衝突力ト有セサルモ火力ニ富ムニ繫リテ存ス即チ步砲兵ニ對スル戰鬪法ノ要旨ハ火力ヲ避ケ又ハ之ヲ冒シテ挫折スルコトナク敵中ニ突入スルニ在リ是カ爲ニハ奇襲ヲ行フヲ第一トシ地形ヲ利用シ成ルヘク敵火ヲ避ケテ近接スルヲ次トシ此事爲シ能ハサレハ攻撃方向、配備、隊形及步度ノ適用ニ依リ損害ヲ減スヘキモノトス(操)第一部第三十九
步砲兵ニ對スル戰鬪ノ經過ハ概ネ騎兵ニ對スル戰鬪ト同様ノ順序ヲ追フモノナ

步砲兵ニ對スル戰鬪ノ特性

以上ノ如クニシテ歩砲兵ニ對スル戰鬪ノ要領ハ略同一ナルヲ以テ以下先ツ歩兵ニ對スル戰鬪ニ就テ説述シ砲兵ニ對スル戰鬪ニ就テハ之ト比較シツツ主トシテ特異ノ點ヲ指示スルニ止メントス

(一) 歩兵ニ對スル戰鬪

(1) 歩兵ニ對シ襲撃ヲ行フ場合

本篇第一章第二節ニ於テ述ヘタルカ如ク歩兵ニ對スル襲撃ハ射撃場ニ於ケル火器ノ効力ニ基キテ判斷スルカ如ク爾ク困難ナルモノニアラスト雖長ク完全ナル歩兵ノ火力ヲ冒シテ前進スルトキハ其損害ノ少ナカラサルヤ疑ナシ故ニ此ノ如キ襲撃ハ友軍ノ爲如何ナル犧牲ヲ拂フモ尙ホ且辭セサル場合ニ限り實行スヘキモノニシテ左ノ狀況ニ於テ他ニ方法ナキ時生スルモノトス

- 一 友軍ノ利益ノ爲敵ノ前進ヲ遲滯セシメントスルトキ(操第四十部)
- 二 退却ヲ掩護スル等友軍ノ危急ヲ救ハントスルトキ(操第四十部)
- 三 友軍ノ戰鬪經過ヲ有利ナラシメントスルトキ(操第八第二部第三項)

己ムテ得
ス行フ場
合

其他ノ場合ニ於テハ敵ノ弱點即チ其火器ヲ執リ能ハサルトキ又ハ之ヲ有利ニ使用シ能ハサル時ニ乗スヘキモノトス此ノ如キ場合ハ概ネ左ノ如シ

- 一 奇襲シ得ルトキ(操第一部第八十四部)
- 二 地形ニ依リ損害ヲ減少シテ近接シ得ル時
- 三 敵ノ士氣沮喪シ秩序ノ紊亂セルトキ(操第四十部)
- 四 敵ノ彈藥缺乏セルトキ
- 五 彼我歩兵對戰中戰鬪酣ニシテ敵ニ後方部隊ノ存スルモノナク其薄弱ナル側面ニ投シ得ルトキ

以上何レノ場合ニ拘ハラヌ馬ノ達シ能ハサル地形ノ後方ニ在ル歩兵ニ對シテハ全ク襲撃シ得サルハ勿論ナリ

(2) 接近行進

敵ハ動かサルカ又ハ其運動甚タ緩慢ナルヲ以テ敵火ノ爲損害ヲ蒙ラサル限リ又ハ過度ノ近接ニ因リ爾後ノ動作ノ自由ヲ害セサル限リハ行軍ヲ繼續スルヲ得然レトモ一般ニ接近行進ヲ始ムル時機ハ他ノ狀況ニ關シテ定マルモノナリ蓋シ歩

襲撃ノ好
機

兵ニ對スル戰鬪ハ直接遭遇的ニ開始スルコト稀ニシテ或ハ對騎兵戰鬪ニ接續シテ行ヒ或ハ會戰間機ヲ得テ行フ等他ノ戰況ニ關連スルコト多ケレハナリ成ルヘク長ク我運動ヲ秘匿シテ充分敵ニ近接セサルヘカラス是カ爲蔭蔽地ヲ通過シ斥候又ハ小部隊ヲ近距離ニ出シテ敵ノ搜索ヲ驅逐シツツ迅速ニ前進スルヲ要ス

遂ニ敵ニ暴露スルニ至レハ敵トノ距離及敵ノ狀態ニ應シテ或ハ直ニ或ハ一層近接シタル後攻撃部署ヲ爲ス如何ナル場合ニ於テモ敵ノ有効射界内ニ入ルトキハ

(單ニ距離ヨリ云)既ニ部署ヲ結了シアラサルヘカラス

一般ニ未タ火力ヲ受ケサル間ハ機動ニ便ナル密集隊形ヲ撰ヒ既ニ火力ヲ受クルニ至レハ疎開セル隊形ト一層迅速ナル步度ヲ取ルヲ要ス

(3) 攻撃部署展開及襲撃實施

歩兵ニ對スル攻撃部署及襲撃實施ノ方法ハ戰鬪ノ目的、地形、敵ノ狀態殊ニ其射撃効力ヲ顧慮シテ定ムヘキモノトス(撰第二部第三十七部)然レトモ一般ノ方式ハ主トシテ射撃効力ニ關シテ變化スルモノナリ故ニ今茲ニハ此關係ニ就テノミ說述シ他ハ應用

戰鬪ノ部ニ讓ラントス

(a) 火力ヲ受クルコト僅少ニシテ敵ニ投シ得ル場合

損害ノ僅少ヲ地形ニ求ムル場合ニ在リテハ敵ニ配備變更ノ餘裕ヲ與ヘサル限リ地形ノ利用ニ適スル隊形ト運動トヲ必要トスルモ其他ノ場合ニ在リテハ攻撃方向、配備及隊形ノ如何ハ問フ所ニアラス唯此時機ヲ失セサル如ク迅速猛烈ニ襲撃ヲ行フヲ緊要トス(撰第一部第四十一部)

千八百七十年十二月十日、マンネー附近ニ於テ獨軍槍騎兵第九聯隊ハ混亂シテ退却スル敵ノ歩兵ヲ三騎縱隊ニテ襲撃シ之ヲ蹂躪セリ

然レトモ多少時間ノ餘裕アリテ殊ニ敵ニ達スル迄ニハ強力ナル射撃ヲ受クルニ至ルヤモ圖ラレスト考フルトキハ重疊セル配備ヲ取ルヘシ(照(b)參)

衝突時ニ於テ最高度ノ速度ヲ出スコトニ關シ對騎兵戰ノ如ク意ヲ用フルノ必要ナキヲ以テ殊ニ機會ヲ逸セサランカ爲ニハ遠クヨリ迅速ナル步度ヲ取ラサルヘカラス

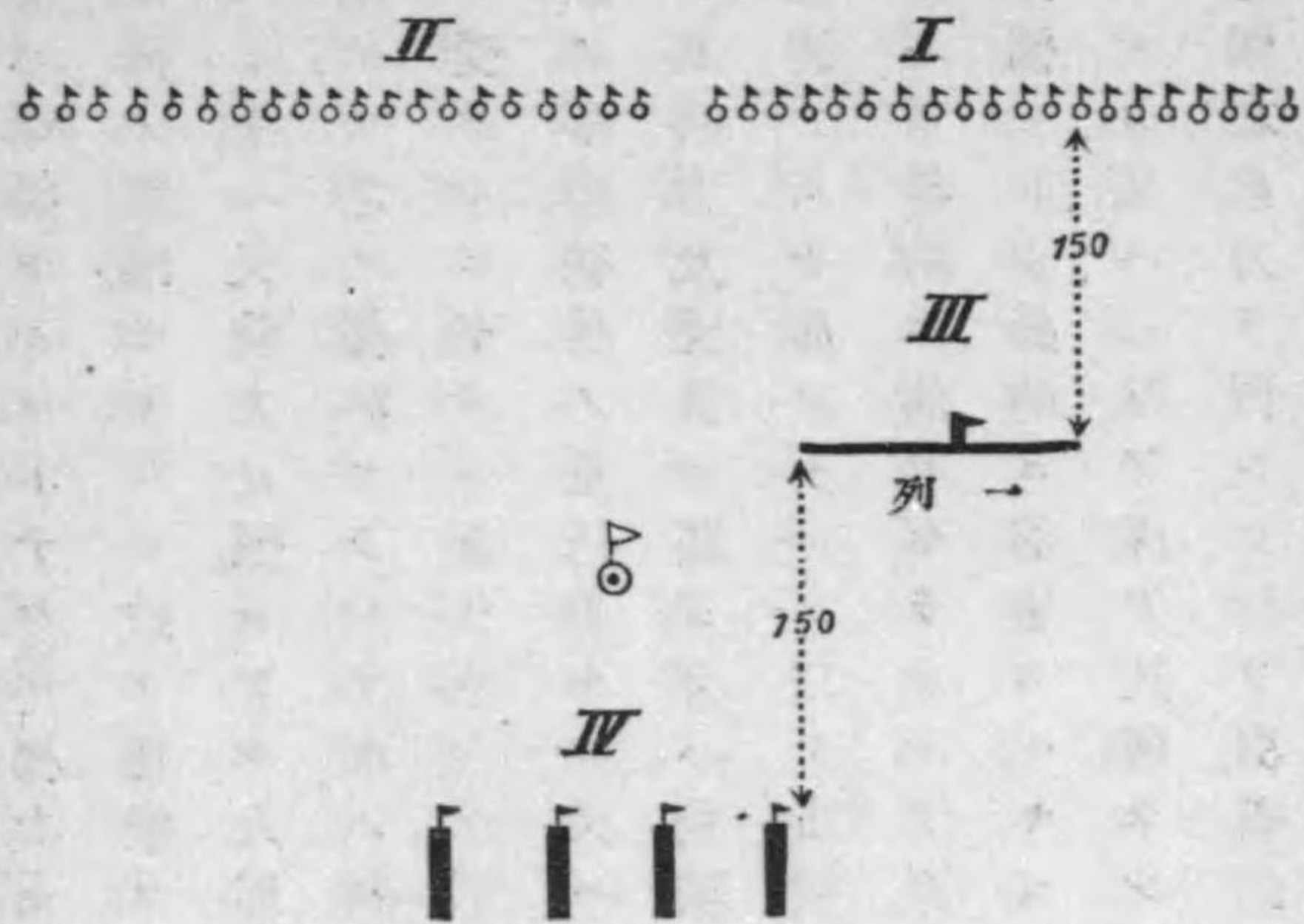
我友軍ノ射撃ヲ受ケツツアル敵ニ對シテハ成ルヘク該射撃ヲ妨害セサルヲ要ス

全ク地形ノ掩護ナキカ側面ニ對スル攻撃ニ於テ襲撃方向愈定マルトキハ爾後最捷路ヲ取リテ直進シ以テ長ク敵火ニ暴露セサルヲ要ス

攻撃ノ爲全般ノ配備ハ敵ヲシテ其火力ヲ我ニ集中セシメサル爲成ルヘク一團トナルコトナク爲シ得ル限リ數方向ヨリ敵ノ正面ニ應シ一地又ハ數點ニ向ヒ前進スルヲ可トス然ルトキハ又敵ヲ震駭セシムルノ利アリ(操第二部第三十條第一項)敵ノ側面ニ對スルトキハ第一線ト同時ニ其後方部隊ヲ襲フヲ要ス

各群ハ縱長區分ヲ爲シ其兵力ノ大小敵情例ヘハ火力ノ強弱縱長區分ノ有無等及我目的例ヘハ單ニ敵ノ最前線ヲ攪亂スルニ在ルカ又ハ深ク敵中ニ突入シテ動作セントスルニ在ルカ等ニヨリテ二線或ハ數線ニ區分ス(セダン附近ニ於テ佛國將官「ガリフェー」ノ獨國歩兵ニ對シテ行ヒタル襲撃ハ惜ムラクハ縱長配備ヲ缺キタル爲成効セサリキ第一戰列(第一線カ更ニ數線ニ分レタルトキ)ハ第一着ニ襲撃シ敵ノ射撃ヲ我ニ牽キ敵火ニ對シ後方部隊ヲ掩護ス是カ爲廣ク敵ノ正面ヲ被フヘク又自己ノ損害ヲ減少シテ成ルヘク敵ニ達センコトヲ力メサルヘカラス故ニ第一線ノ兵力ハ敵ノ全正面ヲ被フニ足ルヘク其隊形ハ通常散開隊形ヲ用フ(既ニ敵ヲ距ル約千

例一ノ襲撃隊聯



五百米ニ)時トシテハ其通過ニ依リテ生スル塵埃ノ飛揚ヲ利用スル主旨ヲ以テ運動スルコトアリ第二戰列以下ハ之ニ被ハレ損害ヲ避ケテ前進シ以テ敵ニ達セン

コトヲ求ム若第一戰列ノ攻撃挫折スルトキハ第二戰列ハ之ニ代ハリテ後方部隊ヲ掩護ス第三戰列以下ノ部隊モ亦然リ第二戰列以下ノ隊形ハ或ハ散開隊形ナルコトアリ或ハ横隊(二列又ハ)ナルコトアリ或ハ其他ノ密集隊形ナルコトアリ火力ヲ受クルノ度ト機動ノ必要トニ因リテ定ム集合セル密集隊形トシテハ廣間隔ノ四(二)伍縱隊ノ併列隊形ヲ利トスルコト多シ各線ノ關係位置ハ其相互ノ距離ヲ百五十米前後トシ以テ攻撃ヲ間斷ナカラシムルト共ニ前方部隊ニ對スル射撃ノ餘勢ヲ受クルコトヲ少ナカラシメ又正シク

前後ニ重疊スルコトナク稍梯次セシメ以テ敵火ノ損害ヲ減スルト共ニ衝突後前方部隊ノ蹂躪セサリシ敵ヲ襲撃スルニ便ナラシムヘシ(操第一二部第四)此ノ如ク梯次スルトキハ又前方ニ倒レアル人馬ニ依リ運動ヲ害サレサルト共ニ前方部隊退却シ來ルモ之ニ纏絡セラレサルノ利アリ然レトモ第一戰列ノ掩護外ニ出テ直接火力ヲ受クルニ至ルヘカラス

不慮ノ事變發生ノ見込多キカ又ハ敵ニ突入後更ニ企圖ヲ有スルトキハ豫備隊ヲ設ク其兵力及位置ニ關シテハ對騎兵戰ニ就テ述ヘタル所ニ同シ

以上述フルカ如クナルヲ以テ歩兵ニ對スル攻撃配備ハ全般ニ於テハ併立的ニ其各群ハ重疊的ニ部署セラルルヲ原則トス(操第二部第三)然レトモ時トシテハ全般ノ配備モ亦重疊的ニ部署スヘキコトアリ(操第二部第二項)例ヘハ時間ト地域ニ缺乏スルカ又ハ一點ヲ深ク突破セントスルトキノ如シ

由是觀之火力ヲ冒シテ行フ決戰的襲撃ハ小部隊ヲ以テハ奏効困難ナリ其實例ハ千八百七十年―七十一年戰ニ於テ多數認ムルヲ得ヘシ例ヘハ「セダン」附近ニ於ケル「ガリフェー」將軍ノ歩兵第八十七聯隊ノ第九第十中隊ニ對シテ行ヘル襲撃及「サピ

歩度ノ適用

ニ―附近ニ於ケル胸甲騎兵第八聯隊ノ佛ノ獵兵大隊ニ對スル襲撃ノ如シ之ニ反シ小部隊ハ其得意トスル奇襲ニ依リテ屢偉効ヲ奏シ得ルモノナリ(本書第二篇第二章第二節ノ例戰)

歩度ノ適用ハ僅少ナリトモ敵ノ射撃ヲ受クルニ至レハ速歩ヲ取り其有効ナル射撃ヲ受クルニ至レハ駈歩ヲ取ラサルヘカラス故ニ平坦地ニ於テハ約二千米ヨリ既ニ速歩ヲ始ムヘク千四五百米ニ近ツケハ駈歩ニ移ルヲ要スルナラン(野要第八十二部)而シテ狀況之ヲ許ストキハ途中地形ノ掩護ニ依リ一時遅キ歩度ヲ取り又ハ停止シテ呼吸ヲ息ムルヲ得突入前ノ歩度ハ騎兵ニ對スルカ如ク強テ襲歩ヲ行フヲ要セス伸暢駈歩ヲ以テ足レリトス

成シ得ル限り機關銃及騎砲兵ヲ以テ先ツ敵火ヲ壓倒スヘク少クトモ敵ノ射撃及注意ヲ之ニ牽制スルコト必要ナリ(操第三十九部)此等ノモノヲ有セサル部隊ハ該目的ノ爲一部ヲシテ徒歩戰ヲ爲サシムルヲ有利トスルコトアリ

指揮官ノ部署ヲ命スルニハ各部隊ニ攻撃目標ヲ示スカ又ハ第一線ニ攻撃スヘキ正面ヲ示シ後方部隊ニ對シ之ニ續行スヘキ關係位置ヲ示スモノトス

展開ハ連繫ヲ害セサル限リ最モ迅速ニ行フヲ要ス
以上示ス事項ノ外騎兵ニ對スル戰鬪ニ就テ述ヘタル所ヲ適用ス

(4) 突入、接戰、追擊、退却

略騎兵ニ對スル戰鬪ニ就テ述ヘタル所ニ同シ
突入ニ當リテハ騎兵ニ就テ述ヘタルカ如ク強大ナル衝突力ノ發揚ヲ必要條件ト
セス故ニ假令密集橫隊ヲ以テ突入スル場合ニ在リテモ整頓ト密集ニ關シテ甚シ
ク意ヲ用フルノ要ナク又歩度ハ敵ノ士氣ヲ奪フニ足レハ可ナリ
追擊ハ敵ノ速度ノ緩慢ナルニ因リ斬撃ト蹂躪トヲ以テ其全滅ニ至ル迄持續スル
ヲ得ヘシ

敵火ヲ冒シテ行フ退却ハ敵騎ヲ背ニシテ行フ退却ヨリモ更ニ損害多キヲ常トス
故ニ宜シク「スコベレフ」ノ所謂前方遁走ヲ行フヘシ凡ソ敵線内ニ在ルトキハ我ハ
敵ヲ蹂躪スルヲ得ヘク之ニ反シテ敵ハ射撃シ能ハサルカ又ハ友軍互ニ相撃ツモ
ノナリ此ノ如クシテ時機ヲ得最モ安全ナル地形ヲ利用シテ敵線外ニ逸出スルヲ
得ヘシ

(5) 各部隊ノ戰鬪(操、第一部、第二百八十四、第二百三十七、第二)

(a) 中隊

中隊ハ其部隊ノ小ナル爲數方向ヨリ數點ニ向ヒ各縱長ノ配備ヲ取リテ襲撃ヲ爲
スコト能ハス故ニ中隊ハ強大ナル火力ヲ冒シテ襲撃スルニ適セサル者ナリ之ニ
反シ奇襲又ハ敵ノ弱點ニ投スルコトハ寧ロ其得意トスル所ニシテ中隊ハ專ラ此
ノ如キ機會ヲ求メテ攻撃スヘキモノナリ
火力ヲ冒シテ襲撃スルノ已ムヲ得サルトキハ時ノ狀況ニ應シ一點ニ對シ全隊ヲ
以テ縱長配備ヲ取リテ攻撃スヘキカ又ハ一方向或ハ數方向ヨリ薄キ配備ヲ以テ
攻撃スヘキカヲ判別セサルヘカラス敵ヲ深く襲フヨリハ寧ロ廣ク襲フノ必要ア
ルトキ例ヘハ單ニ一時敵ヲ攪亂セントスルトキノ如キ及數群トナリテ分離セル
敵ヲ攻撃センカ爲ニハ後ノ方法ニ出ツルヲ必要トス而シテ此際中隊ノ大部ヲ散
開セシメ又ハ小隊毎ニ各個ニ攻撃セシムルヲ適當トスルコトアリ但シ此場合ニ
於テハ一部ノ部隊ヲ後方ニ控置スルコト必要ナリ全隊ヲ擧ケ一點ニ向ヒテ重疊
的攻撃ヲ爲サントスルトキハ中隊ヲ二線又ハ數線ニ區分ス各戰列ノ取ルヘキ隊

形ハ先ニ述フル所ノ如シ

聯隊内ニアル中隊ハ或ハ他ノ中隊ト併立シテ重疊的攻撃ヲ爲シ或ハ他ノ中隊ト重疊シテ散開又ハ横隊或ハ横廣ノ配備(四)列隊(二)伍縱隊ノ併ヲ以テ攻撃スルモノナリ

(b) 聯隊

聯隊ハ其四個中隊ヲ以テ能ク重疊的襲撃ヲ爲スニ適ス又狀況ニ依リテハ數方向ヨリ同時ニ敵ヲ攻撃スルコトヲ得ヘシ

重疊的襲撃ヲ爲スニ當リテハ聯隊長ハ第一線列及後方各線部隊ノ取ルヘキ隊形及關係位置ヲ定メ且第一戰列ニ襲撃スヘキ正面ヲ示シ尙ホ此部隊ニシテ中隊以上ノ兵力ヲ有スルトキハ其基準部隊ニ攻撃方向ヲ示ス先頭部隊ハ深ク敵中ニ突入シ後續部隊ハ前方部隊ノ蹂躪セサリシ敵ヲ襲撃スルヲ要ス併立的襲撃ヲ爲スニ當リテハ各中隊ニ各個ニ攻撃目標ヲ示シ又ハ基準部隊ニ攻撃方向ヲ示シ其他ノ部隊ヲシテ之ニ連繫シテ襲撃セシム重疊的襲撃ヲ行フ場合ノ外豫備隊ヲ設クルヲ必要トスルコト少ナカラス

聯隊ハ一部ヲシテ火器ヲ執ラシムルヲ有利トスルコトアリ

旅團内ニ在ル聯隊ハ通常他聯隊ト併立シテ重疊的襲撃ヲ爲ス然レトモ時トシテハ他聯隊ト重疊シテ併立的攻撃ヲ爲スコトアリ

(c) 旅團

旅團ハ通常併立的攻撃ヲ行フ是カ爲其各聯隊ニ攻撃目標ヲ與ヘ尙ホ要スレハ前進運動ノ區域及攻撃時期ヲ指示スルモノトス而シテ通常豫備隊ヲ控置ス各聯隊ハ其動作區域内ニ於テ必要ナル縱長區分ヲナス旅團若重疊的襲撃ヲ行フトキハ聯隊毎ニ二線トスルカ又ハ數線ニ區分ス

騎砲兵及機關銃ハ豫メ敵火ノ壓倒ニ使用シ又ハ機ヲ失セス騎兵ノ攻撃ヲ援助セシム若尙ホ強大ナル火力ヲ要スレハ騎兵ノ一部ヲ徒歩セシムルコトアリ

集團内ニ在ル旅團ノ動作ハ孤立旅團ト異ナルコトナシ

(d) 集團

騎兵集團攻撃部署ノ要旨ハ旅團ニ同シ

(二) 砲兵ニ對スル戰闘

砲兵ニ對スル戰闘ノ步兵戰闘ニ比シテ異ナル所ハ砲兵ニ在リテハ其火器ヲ執ル

爲及射擊方向ヲ變換スル爲比較的長キ時間ヲ要スルモ其射擊ハ遠距離ニ達シ且通常掩護隊ヲ有スルニ因リテ存ス

遠ク砲兵火ニ暴露シテ之ヲ攻撃スルコトハ火力ニ依ル損害ト其掩護部隊ノ妨害ト相待テ奏効甚タ困難ナルカ故ニ已ムヲ得サル場合ニ於テ實行スルノミ其他ノ場合ニ於テハ敵ノ弱點ニ乘スヘキコト步兵ニ對スルト同一ナリ

砲兵ノ弱點トスル所ハ步兵ニ就テ述フル所ノ外左ノ如シ(操第二部第四項 十二部第一項)

砲兵ノ弱點

- 一 運動中
 - 二 前車ノ解脫又ハ繫駕中(駛下中又ハ)
 - 三 我他ノ部隊ト苦戰中
 - 四 放列ノ背面
 - 五 他隊ノ掩護ヲ缺クトキ
- 運動中ハ射擊ヲ始ムルニ最モ長時間ヲ要シ襲撃ノ爲最有利ナル時機トス「ロア」ニ「附近」ニ於テ普ノ槍騎兵第十一聯隊第二中隊ハ運動中ナル佛國砲兵一中隊ヲ襲ヒテ之ヲ奪ヘリ

砲兵ノ背面ハ步兵ト異ナリ彈藥車等ノ存在ニ因リ射擊困難ニシテ且段列等ヲモ擾亂シ得ヘキヲ以テ又我襲撃ニ有利ナル方向トス(操第二部第四項 十二部第三項)「オルレア」ノ會戰ニ於テ驃騎兵第四聯隊ノ第一中隊ハ佛ノ步兵ヲ急襲シタル後續テ其砲兵中隊ヲ背後ヨリ襲撃シテ之ヲ奪取セリ

砲兵ノ側面ハ步兵ノ側面ヨリモ一層薄弱ナリ蓋シ後方部隊ヲ有セサルト砲車ノ位置ヲ變換スル爲多少ノ時間ヲ要スレハナリ(操第二部第四項 十二部第三項)

他隊ノ掩護ヲ缺ケル砲兵ハ運動中ハ勿論陣地ヲ占領シテ射擊ヲ準備セル時ニアリテモ騎兵ノ爲好餌ヲ呈スルモノナリ是精神上ノ感動至大ナルニ因ル而シテ此ノ如キ場合ハ遭遇戰、追撃、退却等ニ當リ屢發生スルモノトス

陰蔽シテ陣地ヲ占領セル砲兵ニ對シテハ其正面ニ於テモ狀況ニ依リ多大ノ損害ナク之ヲ攻撃シ得ルコトアリ(操第二部第四項 十二部第二項)

接近行進中特ニ注意スヘキハ掩護部隊ノ眼ヲ避ケ又已ムヲ得サレハ之ヲ擊退突破シタル後直ニ之ニ尾シテ迅速猛烈ニ前進シ以テ警報ノ傳ハラサル間砲兵ニ達スルニ在リ

攻撃部署ニ於テ襲撃中或ハ突入後ニ於テ現ハルヘキ敵ノ掩護隊ニ對スル爲特ニ豫備隊ヲ有スルコト必要ナリ(操第二部第四項)殊ニ掩護部隊ノ兵力、編組、位置等不明ナルトキハ成ルヘク之ヲ強大ナラシメサルヘカラス而シテ接近行進中一旦掩護部隊ヲ擊破シタル後ニ於テモ尙ホ之ヲ必要トス蓋シ或ハ恢復攻撃アリ或ハ他部隊ノ來援アルヘケレハナリ此故ニ又攻撃部署ノ當初ヨリ掩護部隊ニ對シ部署シ得ルトキニ於テモ成シ得レハ若干ノ豫備ヲ貯存スルヲ利トス

放列ニ對シ斜ニ攻撃前進シ且放列ニ對スル側面ノ薄キ隊形ヲ取ルコトモ亦損害ヲ減少スルノ一手段ナリ

重疊的配備ニ於テ各線間ニハ一榴霰彈射撃ノ縱長効力ニ準シ約三百米ノ距離ヲ取ルヲ要ス

若步兵線ノ後方ニ陣地ヲ占領セル砲兵ヲ襲撃セントスルトキハ其攻撃部署ハ步兵ニ對シテ行ハレ該攻撃ノ効果ヲ繼續シテ砲兵ニ達セシムヘキモノトス而シテ此際充分ナル縱長區分ヲ爲シ且豫備隊ヲ有スルコト最モ必要ナリ

全ク砲火ニ暴露セルトキハ既ニ四五千米ノ遠クヨリ展開シ疎開セル隊形ヲ取り

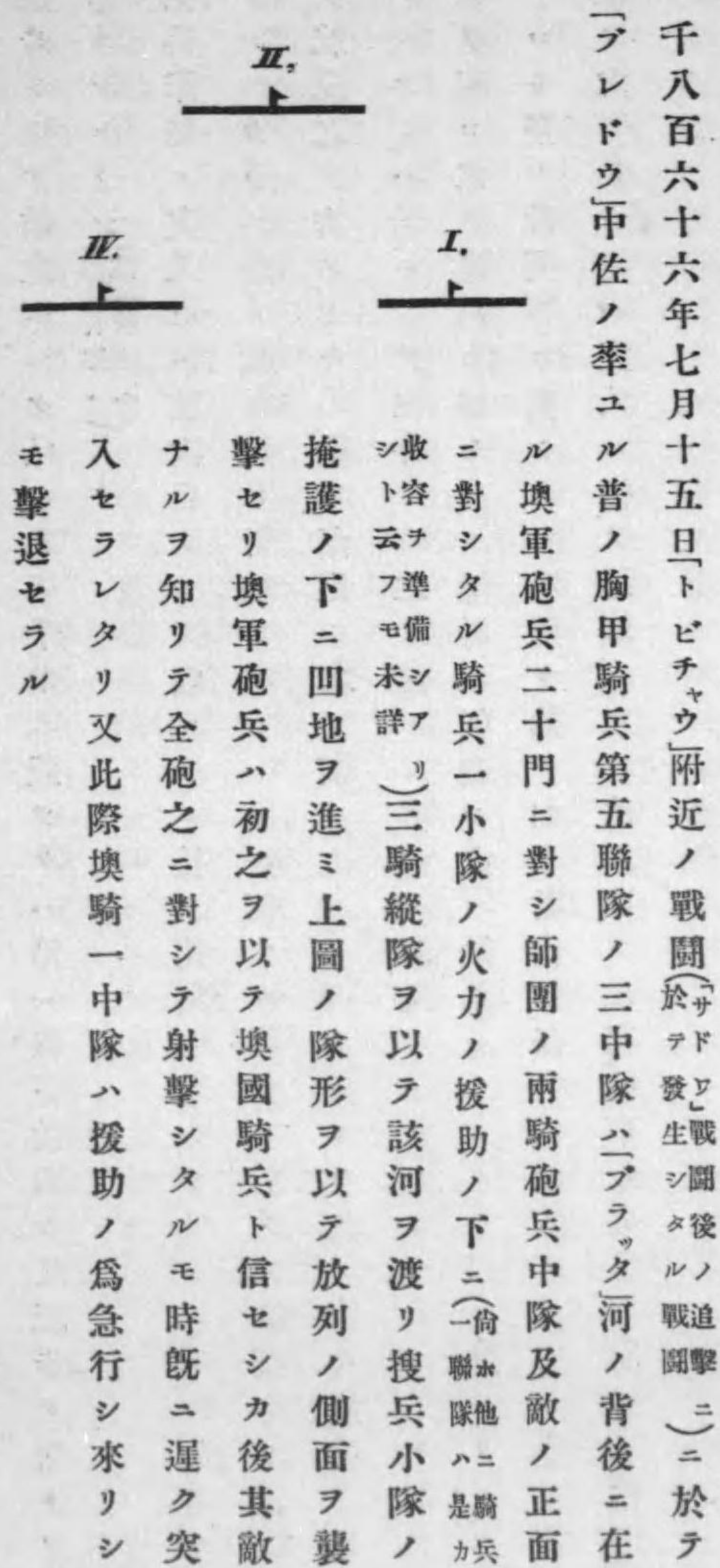
速歩ヲ以テ前進スヘク已ニ二三千米ニ近ツケハ第一線ハ散開シ且駈歩ヲ取ルヲ要スルナラン(野要第九十二部)

砲兵陣地ニ突入セハ該砲兵ヲシテ成ルヘク長ク使用ニ堪ヘサラシムルカ如クセサルヘカラス是カ爲人員ヲ斬殺スルコトハ如何ナル場合ニ於テモ必要ナリ而シテ狀況之ヲ許ストキハ砲ヲ鹵獲シ之ヲ搬ヒ去ルヲ可トスルモ此ノ如キ好況ヲ呈スルコトハ稀ニシテ假令一時之ヲ獲ルモ多クハ奪還セラルルニ至ルモノナルヲ以テ寧ロ之ヲ廢用ニ歸セシメ輓馬ハ斬殺シ或ハ散亂セシムルヲ以テ勝レリトスルコト多シ段列等ニ對シテモ亦然リ此ノ如キ動作ニ任スル部隊ノ部署ハ襲撃前豫メ之ヲ爲シ或ハ突入ニ當リ迅速ニ之ヲ爲シ以テ放列、前車、段列等ニ同時ニ作用スルヲ要ス

側面ヨリ砲兵ヲ攻撃シタルトキハ突入セル第一戰列ハ續テ他ノ側面ニ至ル迄貫通襲撃シ以テ全線ヲ攪亂スヘキモノトス

重砲兵ハ深ク他隊ノ掩護下ニ在ルモ射撃開始ノ爲一層長時間ヲ要シ且通常蔭蔽シテ陣地ヲ占領シ在ルヲ以テ既ニ其掩護部隊ヲ排斥スルトキハ損害ヲ受クルコ

ト少ナク之ニ達スルヲ得テ有利ナル襲撃目標タルモノナリ然レトモ其實行ニ際シテハ該砲兵ノ常ニ小銃ヲ以テ自衛シ得ルコトヲ豫期セサルヘカラス(操第四十三部)各部隊ノ部署法ハ以上ノ原則ヲ斟酌シ對步兵戰ノ要領ニ準スヘシ砲兵襲撃ニ於テ最モ著名ナル一例ヲ左ニ舉ケン



千八百六十六年七月十五日「トビチャウ」附近ノ戰鬪(於テ發生シタル戰鬪ニ)ニ於テ「ブレドウ」中佐ノ率ユル普ノ胸甲騎兵第五聯隊ノ三中隊ハ「ブラッタ」河ノ背後ニ在ル塙軍砲兵二十門ニ對シ師團ノ兩騎砲兵中隊及敵ノ正面ニ對シタル騎兵一小隊ノ火力ノ援助ノ下ニ(尙ホ他ニ騎兵收容ヲ準備シアリ)三騎縱隊ヲ以テ該河ヲ渡リ搜兵小隊ノ掩護ノ下ニ凹地ヲ進ミ上圖ノ隊形ヲ以テ放列ノ側面ヲ襲撃セリ塙軍砲兵ハ初之ヲ以テ塙國騎兵ト信セシカ後其敵ナルヲ知リテ全砲之ニ對シテ射撃シタルモ時既ニ遅ク突入セラレタリ又此際塙騎一中隊ハ援助ノ爲急行シ來リシモ撃退セラル

此結果普ノ騎兵ハ遁走セル二門ノ砲ヲ除キ他ハ悉ク之ヲ鹵獲シ且將校二下士卒百六十八馬百五十七ヲ捕獲セリ而シテ胸甲騎兵ニハ僅カニ十人ノ損害アリシノミ

歐洲諸強國ニ於ケル歩砲兵ニ對スル

乘馬戰ノ傾向

各國共我ニ比シテ大ニ異ナル所ナク殊ニ獨國ハ殆ント我ニ同シ佛國ニ於テハ騎兵孤立シテ步兵ヲ攻撃スルニ當リテハ襲撃ト火器ヲ以テスル攻撃トヲ併用スルヲ要ストナシ且梯隊ヲ以テスル攻撃(我重疊的攻撃)ニ於テ第一ノ梯隊ハ敵火ヲ己レニ誘致シ主攻撃ヲ掩蔽スル爲散兵トナリ次ノ梯隊ハ一列横隊之ニ次ク者ハ敵ノ射撃ヲ困難ナラシメ又ハ運動ノ輕捷ニ依リ敵ノ部隊ヲ包圍スルニ容易ナル如ク自由間隔ノ四伍縱隊ノ横隊更ニ之ニ次ク者ハ廣間隔ノ縱隊横隊ヲ作ルヲ可トセリ又對砲兵戰ニ於テ第一ノ梯隊ハ散兵ヲ以テ其後續部隊ハ一列ヲ以テ攻撃シ而シテ兩者ノ間ニハ榴霰彈ノ束莖ヲ超過スル距離(百五十米)ヲ取ルヘク豫備

隊ハ廣間隔ニ梯次シタル縱隊横隊ヲ以テ大距離ニ續行スヘキモノトナセリ
 奧國ニ於テハ對歩兵戰ニ於テ重疊又ハ梯次セル各線間ノ距離ハ二百乃至三百步
 トシ第二戰列以下ノ部隊ハ密集セル小隊毎或ハ展開セル中隊毎ニ大ナル間隔ヲ
 取リテ前進スルノ規定ナリ對砲兵戰ニ於テハ第二戰列以下ハ前線ヨリ三百乃至
 四百步ノ距離ヲ取リ大間隔ヲ有スル展開横隊ヲ以テ續行ス
 露國ニ於テハ對歩兵戰ニ於テ火力ヲ冒シテノ攻撃ハ普通數梯隊トナリテ行ヒ第
 一ノ梯隊ハ一列ニ散開シ後續梯隊ハ之ト同隊形又ハ二列ノ散開隊形ニ存スルヲ
 得而シテ開濶地ニ於テハ二乃至四露里ノ地ヨリ伸暢駢歩ニ移ルヘク歩兵中隊ニ
 對シテハ騎兵一乃至二中隊ヲ指定スヘキモノトナセリ對砲兵戰ニ於テ火力ヲ冒
 シテノ攻撃ハ三乃至四露里ノ地點ヨリ伸暢駢歩ニ移リ各梯隊間ニハ砲彈爆發距
 離タル三乃至四百步ノ距離ヲ取ルヘク最初ノ梯隊ハ少數ニシテ稀薄ナル散兵後
 續部隊ハ強大ニシテ稠密ナル散兵ヲ作ルヘシトセリ(中隊ハ二梯隊トナリ前方梯
 隊ハ散開セル一列隊形後方梯
 隊ハ散開セル二列隊形)砲兵一中隊ニ對シテハ騎兵一乃至二中隊ヲ指定シ掩護部隊攻撃ノ
 爲ニハ特別ノ部隊ヲ任命ス總テ側面攻撃ニ際シテハ要スレハ正面ヨリラヲ行動

ヲ行フヲ利アリトナセリ
 英國ニ於テハ歩兵ニ對スル重疊的攻撃ニ於テ各線間ノ距離ハ二百(約百八
 十米)ヤード以上ナルヘカラストナシ砲兵ニ對シテハ散開隊次ヲ以テ放列ノ一翼若ハ兩翼ヲ
 襲フヘク馬ヲ鹵獲シタルトキハ砲車ノ運搬用トシテ保存スル爲之ヲ射殺スヘカ
 ラスト規定セリ

騎兵戰術第一卷終

隊ハ廣間隔ニ梯次シタル縱隊橫隊ヲ以テ大距離ニ續行スヘキモノトナセリ
 奧國ニ於テハ對步兵戰ニ於テ重疊又ハ梯次セル各線間ノ距離ハ二百乃至三百步
 トシ第二戰列以下ノ部隊ハ密集セル小隊毎或ハ展開セル中隊毎ニ大ナル間隔ヲ
 取リテ前進スルノ規定ナリ對砲兵戰ニ於テハ第二戰列以下ハ前線ヨリ三百乃至
 四百步ノ距離ヲ取り大間隔ヲ有スル展開橫隊ヲ以テ續行ス
 露國ニ於テハ對步兵戰ニ於テ火力ヲ冒シテノ攻撃ハ普通數梯隊トナリテ行ヒ第
 一ノ梯隊ハ一列ニ散開シ後續梯隊ハ之ト同隊形又ハ二列ノ散開隊形ニ存スルヲ
 得而シテ開濶地ニ於テハ二乃至四露里ノ地ヨリ伸暢駢歩ニ移ルヘク步兵中隊ニ
 對シテハ騎兵一乃至二中隊ヲ指定スヘキモノトナセリ對砲兵戰ニ於テ火力ヲ冒
 シテノ攻撃ハ三乃至四露里ノ地點ヨリ伸暢駢歩ニ移リ各梯隊間ニハ砲彈爆發距
 離タル三乃至四百步ノ距離ヲ取ルヘク最初ノ梯隊ハ少數ニシテ稀薄ナル散兵後
 續部隊ハ強大ニシテ稠密ナル散兵ヲ作ルヘシトセリ(中隊ハ二梯隊トナリ前方梯
 隊ハ散開セル一列隊形後方
 梯隊ハ散開セル二列隊形)砲兵一中隊ニ對シテハ騎兵一乃至二中隊ヲ指定シ掩護部隊攻撃ノ
 爲ニハ特別ノ部隊ヲ任命ス總テ側面攻撃ニ際シテハ要スレハ正面ヨリヲ行動

ヲ行フヲ利アリトナセリ

英國ニ於テハ步兵ニ對スル重疊的攻撃ニ於テ各線間ノ距離ハ二百(約百八
 十米)以上ナルヘカラストナシ砲兵ニ對シテハ散開隊次ヲ以テ放列ノ一翼若ハ兩翼ヲ
 襲フヘク馬ヲ鹵獲シタルトキハ砲車ノ運搬用トシテ保存スル爲之ヲ射殺スヘカ
 ラスト規定セリ

騎兵戰術第一卷終

時換變向方ノ隊橫

距進行ノ長隊小準基同上

時リ ≡ 隊 橫
地 隊 縱 立 併

時リ ≡ 隊 橫
地 隊 縱 隊 中

時リ ≡ 隊 橫
地 隊 縱 伍 四

時)隊橫左リ ≡ 隊縱伍四

時リ ≡ 隊 縱 伍 四
地 隊 橫 面 前

時 開 排 = 側 一 同
地

時)隊縱隊中リ ≡ 隊縱伍四

時)隊縱伍四リ ≡ 隊縱隊中

時)隊縱立併リ ≡ 隊縱伍四

時 隊 縱 隊 中
地 隊 橫 ヲ ≡

時リ ≡ 隊 縱 隊 中
地 隊 橫 面 前 (右) 左

時 隊 縱 立 併
地 隊 橫 ヲ ≡

ノ 隊 形 變 換 並 運 動 ニ 要 ス ル 時 間 及 地 域

大正三年七月五日印刷
大正三年七月十日發行



(騎兵戰術第一卷與附)

發行者兼

前田岩太郎
東京市四谷區荒木町二番地

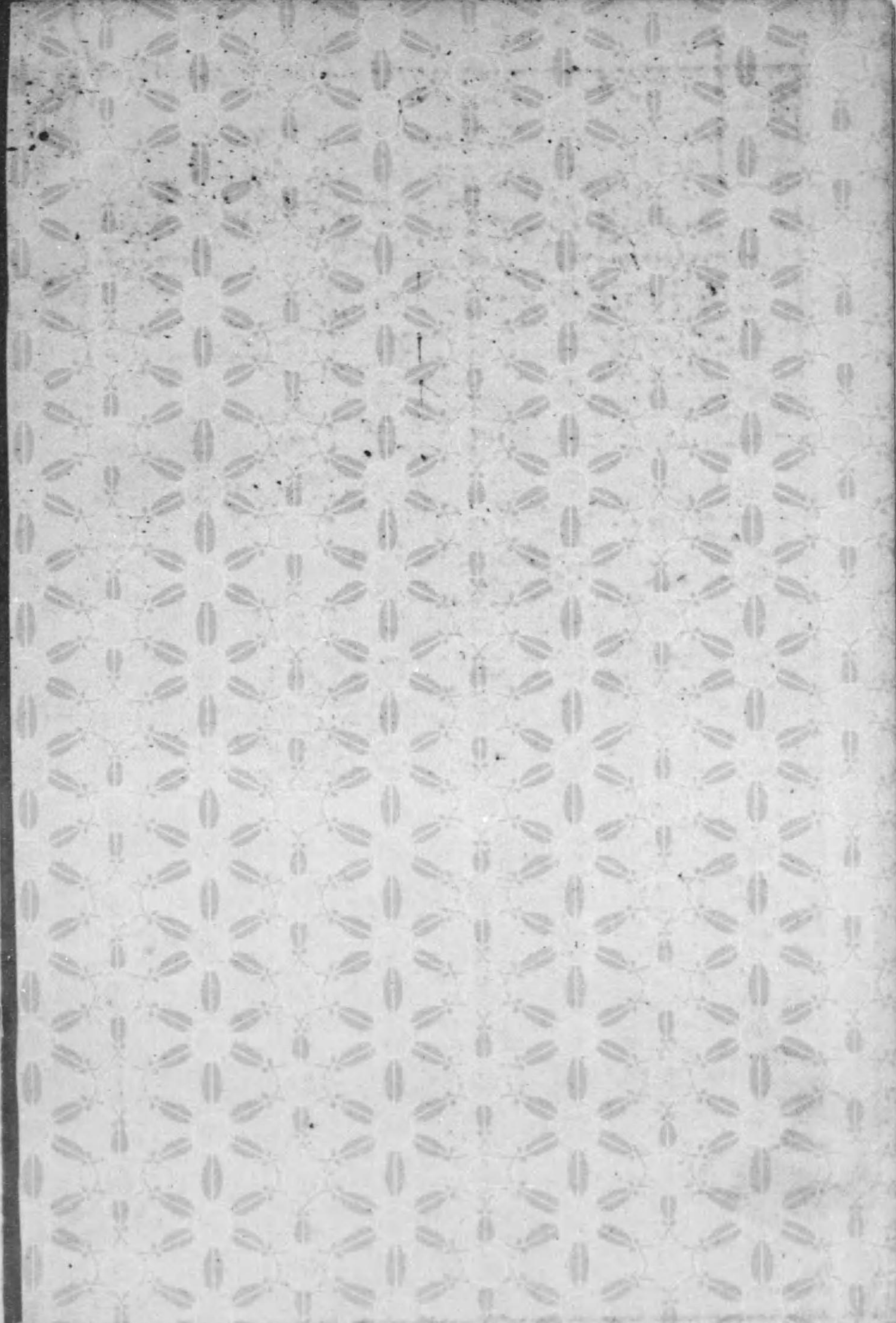
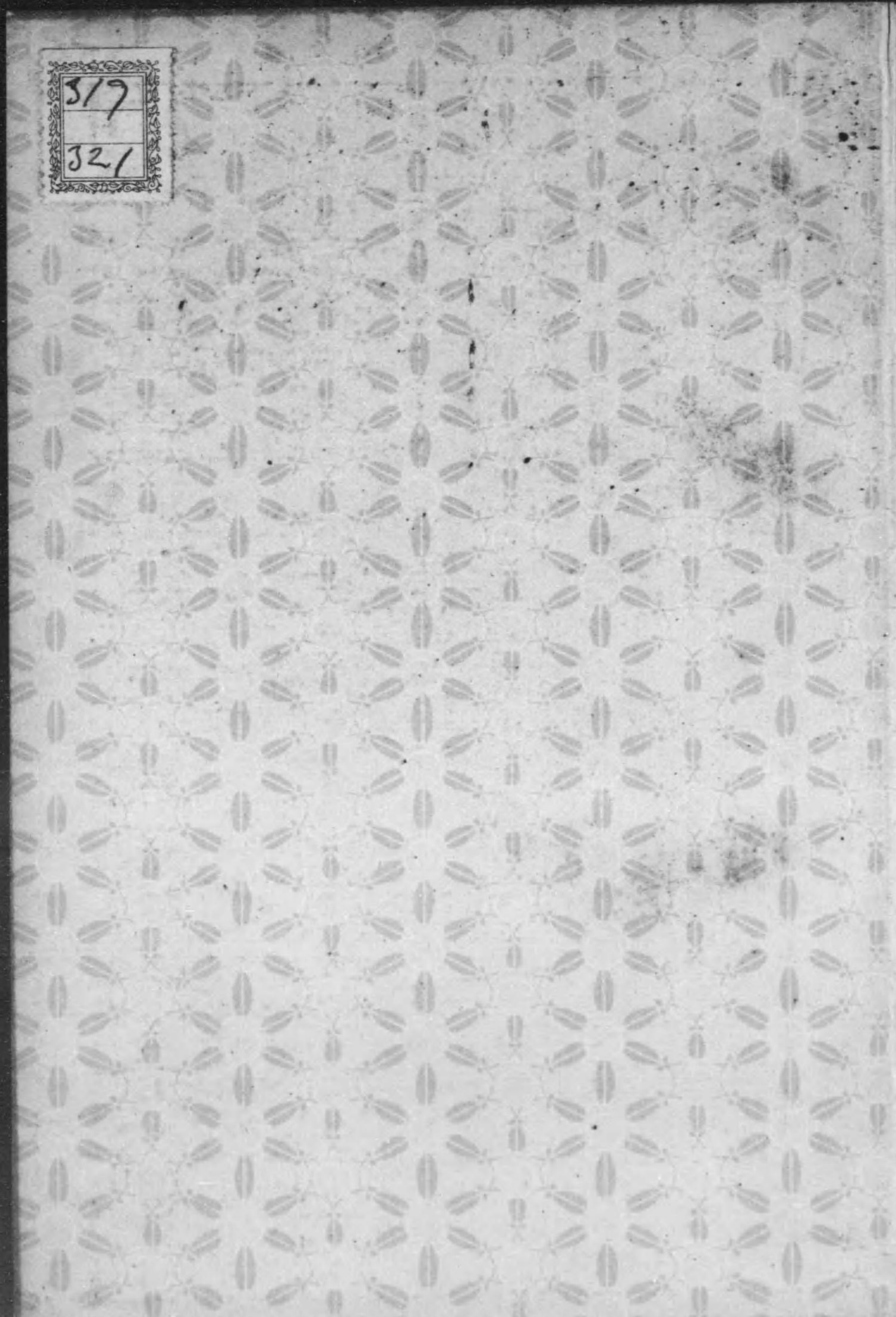
印刷所

同 勞 舍
東京市麴町區下六番町十七番地

發行所

東京市四谷區荒木町二番地
干城堂
振替口座東京一六九八五番

319
321



終